

# 官報

號外

明治三十四年二月二十日

水曜日

印刷局

## ○第十五回 衆議院議事速記第九號

明治三十四年二月十九日(火曜日)午後一時六分開議

議事日程 第八號 明治三十四年二月十九日

午後一時開議

一 (第一號)明治三十三年度歲入歲出總豫算追加案

二 (特追第一號)明治三十三年度各特別會計歲入歲出豫算追加案

三 (追第三號)豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

四 酒造稅法中改正法律案(政府提出)

五 酒精及酒精含有飲料稅法案(政府提出)

六 沖繩縣酒類出港稅則中改正法律案(政府提出)

七 酒精、酒類其ノ他酒精ヲ含有スル飲料輪出下戻金ニ關スル法律案(政府提出)

八 醫藥用、工業用酒精稅法案(政府提出)

九 麥酒稅法案(政府提出)

十 砂糖消費稅法案(政府提出)

十一 關稅定率法及同法附屬輸入稅表中改正法律案(政府提出)

十二 臨時軍事費處分法案(天野君團外二名提出)

○議長(片岡健吉君) 諸般ノ報告ヲ致シマス

政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

漁業法案

委員長及理事左ノ適當選セラレタリ

北陸及北越聯絡線速成ニ關スル建議案

委員長 稻垣 示君

理事 內山 松世君

明治二十九年法律第四號中改正法律案

委員長 土居平左衛門君

理事 初見 八郎君

議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

北海道水產稅則廢止法律案

提出者 山下千代雄君 佐藤 昌藏君

重野謙次郎君 戶狩權之助君 大久保 鐵作君

菅原 傳君 佐藤 琢治君 下飯坂權三郎君

阿部孫左衛門君 武石 敬治君

明治二十四年法律第二號中改正法律案

提出者 大矢四郎兵衛君

帝國古蹟取調會國庫補助ニ關スル建議案

提出者 早川 龍介君 丸山嵯峨一郎君 村野常右衛門君

府縣制中改正法律案

提出者 後藤 文一郎君 野尻 岩次郎君 安藤 龜太郎君

郡制中改正法律案

提出者 戶狩權之助君 脇坂 行三君 西原 清東君

龍野 周一郎君 武市 彰一君 西原 清東君

田口卯吉君ヨリ東京市政監督ニ關スル質問主意書ヲ提出セラレタリ

(左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

東京市政監督ニ關スル質問主意書

提出者 田口 卯吉 贊成者 島田 三郎

右成規ニ據リ提出候也

明治三十四年二月十九日

東京市政監督ニ關スル質問主意書

東京市參事會員並ニ市會議員ノ職ニアルモノニシテ請負人等ト結托シ市參事會ヲシテ需要品ヲ貴買シ損害賠償金ヲ輕減スル等ノ奇怪ナル決議ヲ爲サシメタル顛末ヲ審查スルニ此ノ會議ニ列シ此決議ヲ贊セシモノハ假令自ラ收賄セストスルモ癡癡白癡ニアラサル以上ハ他ニ收賄者アルノ事情ヲ疑ハスシテ止ム能ハサル程ノ事柄ナルヲ十分ニ調査セシメテ漫ニ之ヲ贊成シ東京市民ヲシテ巨万ノ損失ヲ蒙ラシメ弊風ヲ全國ニ及シ國家ノ體面ヲ汚スニ至リタルハ其責決シテ輕シトセサルナリ然ルニ監督官廳ニ於テハ今ニ至ルマデ此等公吏ニ對シ相當ノ處分ヲ施サ、ルハ其理由如何

右及質問候也

○議長(片岡健吉君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、議事日程ノ第一、第一號明治三十三年度歲入歲出總豫算追加案、栗原亮一君

一 (第一號)明治三十三年度歲入歲出總豫算追加案

○恆松隆慶君(百二十一番) 議長

○議長(片岡健吉君) 恆松君何デス

○恆松隆慶君(百二十一番) 議事日程ノ第一ヨリ第三マデ、序ニ委員長カラ御報告アラントコトヲ望ミマス

(栗原亮一君演壇ニ登ル)

○栗原亮一君(六十二番) 三十三年度追加豫算ノ委員會ノ結果ヲ報告致シマ

官報號外

明治三十四年二月二十日(三月三十一日第三種郵便物認可)

衆議院議事速記第九號

議長ノ報告

(第一號)明治三十三年度歲入

八一

ス、是ハ第一號ノ總算追加ト特追第一號ノ三十二年各特別會計ノ分、追第三號豫算外國庫ノ負擔、此三ツヲ併テ報告ヲ致シマス、此追加豫算ハ多クハ三十二年度ニ於キマシテ、第一豫備金ノ不足ノタメニ追加トシテ請求セラレタモノデアリマス、此歳出ノ額ガ三十一万七千九百八十九圓デアリマシテ、之ニ對スル歳入ガ三百十五萬圓トナツテ居ルノデアリマス、此歳入ノ三百十五萬圓ハ、即チ此三十二年度ニ於キマシテ、歳入豫算ノ超過トナツテ居ルモノガアリマス、ソレハ所得稅ニ於キマシテ五十八萬圓、營業稅ニ於キマシテ二十八萬圓、海關稅ニ於テ二百二十九萬圓、是ハ孰モ昨年十二月マデノ月割平均ニ依ツテ、其稅務署長等ノ報告ニ依リマシテ、此三百十五萬圓ヲ以テ、歳入超過ガアルト云フノ見込ニ依リマシテ、此三百十五萬圓ヲ以テ、歳出ノ財源ニ充テテアルノデアリマス、因テ此三十四年度ニ於キマシテ、總算ヨリ削減致シマシタル所ノ二百六十九萬圓餘ト、是ニハ毫モ關係ナイノデアリマス、此中ニ於キマシテ主ナルモノヲ舉ゲテ御報告致シマスレバ、内務省ノ所管ニ於キマシテ傳染病豫防費ノ補助、是ハ二十四萬八千五百七十七圓ノ要求トナツテ居リマスガ、即チ是ハ傳染病豫防法ノ結果ニ依リマシテ、實施スル上ニ於テ不足ヲ告ゲタルモノデアリマスカラシテ、即チ此「ベスト」赤痢等ノ流行ニ依リマシテ、豫算ヨリ經費ガ超過致シタルデアリマスカラ、實ニ已ムヲ得ザルモノト致シマシテ、委員會ニ於テハ之ヲ可決スベキモノト認メタデアリマス、次ハ警察費ノ連帶支辨金ガ四十萬七千八百七十八圓デアリマス、是ハ成規ニ依リマシテ地方ノ警察費ニ、中央ヨリ連帶支辨ト致シテ補助スルノデアリマスガ、昨年ハ段々地方議會ニ於キマシテモ警察費ノ増加ヲ決議致シテ、大分ニ地方ニ於テモ警察費ト云フモノガ嵩シテ居リマス、而シテ三十二年度ニ於キマシテハ、其事ヲ豫想シテ豫算ガ積ツテナカッタデアリマスルカラシテ、地方ニ於テノ警察費ノ増加トシテ、自然ノ結果此連帶支辨金ガ増加シタルデアリマス、故ニ是モ已ムヲ得ザルモノト認メタデアリマス、ソレカラ水害地蟲害地ニ於キマシテ、地租特別處分ノ法案ガ、前ニモ本院ニ於キマシテ通過シタ譯デアリマスルガ、之ニ充ツル所ノ不足分ト、ソレカラ輸出ノ酒類其他戻稅等ニ於キマシテ、豫算ヨリ不足ヲ生ジシテ、之ヲ合セマシテ三十八萬六千六百二十三圓デアリマス、ソレカラ陸軍省ノ所管ニ於キマシテハ、糧米馬糧、此價ガ騰貴シテ不足ヲ生ジマシテ、其金高ガ八十三萬二千二百二十一圓デアリマス、是ハ補充科目トナツテ居リマシテ不足ヲ告グレバ、其不足分ダケハ、相場ノ差ニ依リマシテハ不足分ヲ補充スルコトニナツテ居ルノデアリマス、是ハ三十二年度ニ於キマシテハ、豫算委員會ニ於テ査定致シタ時分ニ、三十萬圓削減致シタルデアリマス、當時ニ於キマシテ三十萬圓削減致シマシテモ、相場ニ於テ適當デアラウト云フ考ヲ以テ、此削減ヲ致シタルデアリマス、所ガ實際ノ相場ハソレハ不足デアリマシテ、此三十二年度ニ於テ見積リマシタル所ノ原案ニ於キマシテハ、一石ガ九圓九十六錢六厘ノ見積ニナツテ居リタノデアリマシタ、ソレヲ前年度ニ於キマシテハ修正ヲ致シテ、一石八圓八十七錢三厘ノ見込ヲ以テ三十萬圓、前年度ニ於キマシテ削減致シタルデアリマシタガ、實際ハ此見積ハ不足ヲ告ゲマシテ、即チ此三十二年度ノ追加ニ於キマシテハ、實際相場ト見積相場トノ平均額ト云フモノガ、一石十三圓三十錢六厘トナツテ居ルノデアリマス、此三十二年度ニ於キマシテ一月マデノ不足分ト云

フモノハ、是ハ臨時ニ補充ヲ致シタデアリマスケレドモ、二月三月分ト云フモノハ財源ガアリマセヌカラシテ、即チ此豫算ニ於テ追加ノ要求ヲ聞ケル譯デアリマス、段々此相場ニ於キマシテハ詳シク審査ヲ致シマシタル所、先ヅ是デ適當ナモノト認メマシテ、又是ハ強テ削減シテ置キマシテモ、實際相場ノ上ニ於テ不足ヲ告ゲル時分ニハ補充科目デアリマシテ、別ニ削減ヲシタル所ガ實效ノナイ譯デアリマスカラシテ、先ヅ今回ハ原案通認メテ置クガ當然デアラウト云フノ考ヲ以チマシタ、尙ホ此北清事件ニ就キマシテ、第五師團ノ動員ヲ致シマシタカラ、サスレバ此北清ノ事件ニ於テハ海外ニ在ル所ノ兵ニハ、又別ニ其方ノ經費ガ求メテアリマスカラ、此第五師團ノ動員ニ就キマシテハ十七萬九千九百九十九圓ト云フモノハ、是ハ除イテ要求シテ成ツテ居ルノデアリマス、審査ノ結果適當ト認メマシテ、是モ原案可決スベキモノト認メタデアリマス、ソレカラ遞信省ノ所管ニ於キマシテ、此郵便貯金切手ノ制度ヲ設ケマシテ獎勵致シマシタ、其結果ガ非常ニ宜シク致シテ、餘程此切手ノ貯金ト云フモノモ豫想ヨリ多クナリマシテ、詰リ不足ヲ告ゲマシテ、其不足分ニ對シテ要求シテ參ツテ居ルノデアリマス、其通帳ノ製造ト云フモノト、サウシテ此切手貯金拂込金トノ不足デアリマスルガ、併セマシテ五十三萬五千五百九十九圓デアリマシテ、其中一萬二千二百二十八圓ガ貯金通帳ノ製造費デアリマス、而シテ五十一萬九千二百三十圓、是ガ切手貯金ノ拂込金デアリマシテ、御承知ノ通帳帳簿ヲ以テ印紙ヲ貼付ケテ參ル時分ニハ、其印紙ノ收入ガ一般歳入ニナリマスルガ、遞信省ニ於キマシテハ、切手ヲ貼ツテ來レバ、其預金ダケノモノハ預金全部ニ對シテ一般會計ヨリ支出ヲ致シテ、預金全部ニ其預金ヲ置カナケレバナラナイ、即チ其結果ト致シマシテ、此金額ガ要求ニナツテ居ルデアリマス、是モ自然ノ結果デアリマスカラシテ、已ムヲ得ヌモノト認メタデアリマス、ソレカラ内務省所管ニ於キマシテ、大阪市ノ水道及此下水費ノコトデアリマス、是ハ少シク問題ニナリマシタカラシテ、委員會ニ於キマシテモ餘程精密ニ調査致シタルデアリマス、大阪ニ於キマシテハ前ニ此水道費ノ補助ガアリマシタ、是ハ工事ヲ豫定通リマシテ、今回郡市ノ中ニ編入ヲ致シテ、其郡部タリシ所ニ敷設スル所ノ水道竝ニ下水ノ經費ニ對シテノコトデアリマス、此郡部ヲ市ニ編入シタガタメニ、ソコニ水道ヲ敷設シ下水ヲ設クルト云フコトニ就キマシテ、既ニ定ツテ居ル所ノ工費ハ八十六萬八千三百六圓デアリマシテ、是ガ三十二年度ヨリ三十五年度マデ、三箇年ノ繼續事業トナツテ居ルノデアリマス、其中既定ノ下水工費ノ方ガ二十六萬三千六百六十七圓デアリマス、是ハ三十二年度ヨリ三十六年度マデ、五箇年間ノ繼續事業トナツテ居ルンデアリマス、大阪ニ於キマシテハ是ダケノ工費ヲ企テマシテ、近キ中ニ博覽會モ開設セラレ、譯デアリ、殊ニ近來大阪ニ於キマシテハ「ベスト」流行ノ根據地ト爲リマシテ、ドウシテモ此「ベスト」ノ豫防撲滅ヲスルニハ、是非此水道ト云フモノヲ改良致サナケレバ、其撲滅ノ功ヲ奏スルコトハ出來ナイ、是ハ水道ト「ベスト」トハドウ云フ關係ガアルカト、色々質問モアリマシタケレドモ、直接ノ關係ハナクトモ、矢張此水道下水等ノ十分ニ出來テ居ル所ハ、是マデノ實驗ニ依リマシテモ至テ「ベスト」ノ流行モ少クアリマス、又其設ナキ所ハ「ベスト」ノ流行モ多イト云フ譯デアリマスカラ、此水道下水ト云フモノヲ完全ニスルナラバ、實際ニ於テハ餘程「ベスト」

ノ豫防撲滅ニハ功ヲ奏スルト云フノ、當局者ノ段々ノ調査ニ據リマシテ、大阪  
市ニ於テハ成ルベク博覽會モ迫テ居ル譯デアリマスカラ、此工事ノ期限ヲ短  
縮シテ成ルベク早ク成效ヲ致シタイ、即チ三十四年度中ニ竣工スルノ見込ヲ  
以テマシテ、此工事ヲ繰上ゲルガためニ、十六万三千四百六十七圓ト云フモノ  
ガ、是ガ工費ノ増加デアリマス、此工事ヲ三十四年度ニ繰上ゲテスルためニ、  
十六万餘圓ノ經費増加デアルカラシテ、ドウカ是ダケノ増加ノ分ダケヲ、政  
府ヨリ補助シテ費ヒタイト云フノ請求デアリマシタ、所ガ十六万圓餘ト云フ  
モノヲ悉ク其請求ニ應ズルコトハ致サズシテ、成ルベク内務省ニ於テモ其出  
來得ルダケノ節減ヲ加ヘシメテ、十六万圓餘ノ要求ニ對シテ、十二万圓ト云  
フモノヲ補助スルコトニ致シタデアリマス、十二万圓ヲ三十三年度三十四  
年度ニ分チマシテ、三十三年度ハ二万圓、三十四年度ガ十萬圓ニナツテ居ル  
ノデアリマス、テ此工事ヲ起スニ附キマシテ、或ハ其他ノ市街モ水道工事デ  
アルトカ、大抵補助ノ歩合ハ三分ノ一若クハ四分ノ一ト云フヤウナ例ガアリ  
マスガ、此等ノ例ニ照シマシテモ、決シテ過分ノ要求デナク致シマシテ、即  
チ此未成工事費——未ダ成ラザル所ノ工事デアリマスガ、其工事費ハ四十三  
万四千七百二十五圓デアリマシテ、之ニ對シテ十二萬圓ノ補助ハ、三分ノ一  
ニモ足ラナイ位デアリマスカラ、決シテ過分ノ補助デナイト云フコトヲ認メ  
タノデアリマス、又此既成ノ工事、未成ノ工事、兩方ヲ併セマスルト、總額  
ガ百十三万九千七百七十四圓デアリマスカラ、此總額ニ對シテ見マスレバ十二  
萬圓ノ補助ト云フモノハ、僅ニ十分ノ一強ニ當ル位ノモノデアリマスカラ、  
少イトテモ決シテ過分デハナイト認メマシテ、是モ原案通可決スベキモノト  
認メタノデアリマス、ソレカラ大阪ノ臨時「ベスト」豫防事務局ト云フモノガ  
設ケラレマシテ、是ハ中央ヨリソレ「其世話スル所ノ官吏ヲ置イテヤッ  
テ居ルンデアリマス、其他ニ此臨時検査費ト云フモノハ、是ハ從來アルノデア  
リマスガ、之ヲ合セテ十一万二千六圓ト云フモノガ不足ヲ告ゲマシタカラ、  
是モ要求ニナツタンデアリマス、併テ是モ原案通可決スベキモノト認メタ  
ンデアリマス、ソレカラ遞信省ノ部ニ於キマシテハ、航海獎勵金二十九万五  
千八百八十一圓ノ不足ヲ告ゲタシデアリマス、是ハ豫備金ガアルナラバ豫備  
金ヨリ支出スベキ管ノモノデアリマスガ、豫備金ガ既ニ盡シタシデアリ  
マスカラ、追加豫算トシテ之ヲ要求シ來タシデアリマス、是モ到底已ムヲ  
得ザルモノト認メテ、原案通決スベキモノト致シタシデアリマス、其外ニ於  
キマシテハ特別會計ノ部ハ、此臺灣總督府ノ中ニ於キマシテ、醫院醫務局、  
製藥所、是等ノ追加要求デアリマスガ、此醫院ノ方ハ餘程患者ノ數ガ増加致  
シマシテ、患者數ノ増加ヨリ總テノ統計ヲ、委シク取寄セテ審査致シマシタ  
所ガ、是モ已ムヲ得ヌモノト認メマシテ、即チ此臺灣總督府ノ部ニ於キマシ  
テハ、經常部合計ガ五十三万五千二百六十七圓二十錢、臨時部ノ合計ガ六十  
七万八千七百二十圓二十錢、此臨時部ノ方ハ事業費デアリマス、其外ニ文部  
省ノ東京帝國大學、第一高等學校、遞信省ニ於キマシテノ官設鐵道ノ分、是ハ  
三百五十圓、是ハ少ノモノデアリマス、ソレカラ豫算外國庫ノ負擔トナルベ  
キ契約ノ分、是ハ前ノ豫算ノ結果ト致シマシテ、此大阪市ノ水道ニ補助ヲ與  
ヘル所ノ契約デアリマス、其外農事試驗場ヲ備外國人ノ備繼トカ、或ハ備入  
ヲスルトカ云フヤウナコト、ソレカラ鐵道事務ニ從事スル所ノ備外國人ノ件、

此等契約ノコトハ能ク審査シマシタ所ガ、孰モ已ムヲ得ヌモノト認メタシ  
アリマス、今度ハ詰リ總テ原案通ト始テ決定致シタノデアリマスカラ、此段  
御報告ヲ致シマス

○出水彌太郎君(二百六十五番) 議長……

○議長(片岡健吉君) 何デスカ

○出水彌太郎君(二百六十五番) 大藏大臣ニ質問ヲシタイノデス、唯今委員  
長カラ報告ニナリマシタ、此追加豫算ノ説明書ヲ見マスルト、此歲出ハ本年  
度ノ歲入増加額ヲ以テ之ヲ支辨スルト云フコトニナツテ居リマス、ソレカラ  
過日豫算委員會會デ阪谷政府委員ノ御答デア見マスルト、海關稅ハ二百二十九萬  
圓、所得稅ガ五十八萬圓、營業稅ガ二十八萬圓、總計三百十五萬圓ガ歲入ノ増  
加ト爲ルト云フノ御答デアアツタ、ソレデ豫算歲出ガ三百一十一萬圓ニ對シテ、此  
歲入三百十五萬ノ歲入増加ガアルトシマスレバ、即チ是デ十分足リルト云フ  
コトハ信ジラレマスガ、獨リ海關稅、所得稅、營業稅ノ外ニ、地租トカ、或ハ  
葉煙草ノ專賣ノ收入トカ、其他鐵道郵便等ノ歲入ニ於テハ、必ズ豫算ノ通行ケ  
ルカ否ヤ、或ハ此等ノ點ニ於テ豫算ニ多少收入ノ見込ガ足ラヌト云フコトニ  
ナリマシタトキニハ、此三百十五萬圓ト云フモノハ、果シテ此歲出ヲ補フコト  
ガ出來ルカ否ヤ、ドウカト云フ疑ヲ生ジテ居リマス、ソレデ地租ニ於キマシ  
テハ、或ハ虫害トカ、若クハ風水害トカノためニ、幾分カ減ズルト云フヤウナ  
事柄ガアルデアラウト思ヒマス、ソレカラ葉煙草專賣等ノ收入ニ至リマシテ  
モ、必ズ豫算通十分ニ收入シ得ラレルヤ否ヤト云フコトヲ明ニ承リタイ、今  
一ツハ郵便ノ收入ヲ見マスルト、未ダ其金額ノ確ナルコトハ分リマセヌガ、  
郵便物數カラ比較致シマスルト、昨年十二月末ノ郵便ノ物數ト云フモノハ、  
一昨年ニ對シマシテ、此豫算通收入シ得ラル、ダケノ總額ガナイカ知レヌト  
云フ疑ガアル、是等ノ點ニ於テ悉ク豫算ノ收入ヲ爲シ得ラレルモノデアアルカ、  
此三百十五萬圓ト云フモノハ必ズ他ノ物ガ不足ヲ告ゲテモ、是ダケ得ラレル  
ノデアアルカ否ヤト云フコトヲ、明ニ詳細ニ承リタイ

○議長(片岡健吉君) 第一號總豫算追加案全部ヲ議題ニ供シマス

(大藏大臣子爵渡邊國武君演壇ニ登ル)

○大藏大臣(子爵渡邊國武君) 唯今歲入ノコトニ附イテ御質疑デアリマス  
ガ、委細豫算委員會ニ於テ答ヘテ置キマシタガ、未ダ本年度ハ終結致シマセヌ  
カラ、確乎タルコトハ申サレマセヌガ、今日ノ見込ハ支辨シ得ル考デアリ  
マス、是ダケノコトヲ御答致シマス

○工藤行幹君(六十六番) 六十六番

○議長(片岡健吉君) 質問デゴザイマスガ……

○工藤行幹君(六十六番) 私ハチヨット質問致シタイデゴザイマスガ……

○議長(片岡健吉君) 工藤行幹君

○工藤行幹君(六十六番) 此追加豫算ト云フモノハ、今マデハ一切仕拂ヲセ  
ヌデ、此議場ヲ通過シテ始テ仕拂ヲスルノデゴザイマスガ、是マデハ一切總  
テノコトデゴザイマス、傳染病豫防ノ費用デモ何デモ、是マデハ決シテ拂  
テ居ナイノデ、是カラ議會デ豫算ヲ通過シテカラ拂フノデアアルカ否ヤト云フコ  
トヲ承リタイ、次ニハ大阪ノ補助費ト云フモノハ、未ダ許可ニナラヌノデゴザ  
イマスルカ、政府ハ許可シテ然ル後ニ議會ノ承諾ヲ求ムルノデアアルカ、或ハ是



ルタメニ、大阪ノ下水及其水道ノ速成ヲ補助スル費用ヲ支出スルト云フコトハ、實ニ謂レナイコト、考ヘマシムル、内務省所管ノ政府委員ノ本件ニ對スル一事ニ關スル所ノ説明ハ十分承リマシテゴザイマスルガ、本員ノ希望スル所ハ大藏大臣ガ事ノ緩急ヲ計リテ、事業ニ經費ヲ支出セラル、ト云フ場合ニ、標準如何、此一事殊ニ聽カマホシウ存シマス、又議員諸君ガ斯ノ如キ全ク理由ノ消滅シタルモノヲ、即チ政府ノ要求スル所ノ理由ト云フモノハ、政府ガ分科會ニ來テ説明スル所ノコト、全ク違フテ居ル、即チ理由ト云フモノガ消滅シタル所ノ經費ニ向テ、協賛ヲ與ヘラル、ト云フ所ノ心底如何、若モ斯ノ如キモノニ、一々理由山ノナイモノニ協賛ヲ與ヘルナラバ、政府ハ常ニ議院ノ詳細ナル審査ヲ爲サズト云フコトニ乗ジテ、何時デモ杜撰孟浪ナル所ノ豫算ヲ以テ、總テノ經費ヲ求メルコトニナラウト考ヘル、將來政府ガ豫算ニ附イテ正確ナル所ノ理由ヲ以テ求ルタメニハ、是非此要求ノ金額ハ少シトハ言ヒテガラ、是非ハ否決シナケレバナラヌモノト本員ハ信ジマス、宜シク御贊成ヲ願ヒマス

○恆松隆慶君(百二十六番) 今是ハ内務省所管中ノ項目ニ附キ平岡君ヨリ削除説ガ出マシタガ、別ニ之ニ就イテ平岡君ノ説ニ反對スルトカ、原案贊成演説ヲスル程ノコトハナイト思ヒマス、苟モ衛生ト云フコトヲ腦髓ニ持シテ居ル者ハ、水道下水等ノ、身體ニ大關係ノアルト云フコトヲ承知シテ居リマス、又大阪ノ土地ハ如何ナル土地デアアルカト云フコトモ、是モ判斷ハ出來ルノデアアルカラ、別ニ之ニ附イテ、贊成演説ヲ要セズ、直チニ決議セラレンコトヲ望ミマス、原案通異議ハゴザイマセヌ

○議長(片岡健吉君) 採決致シマスルガ、其採決ノ致シヤウハ斯ウ致シマス、今平岡萬次郎君カラ、歳出臨時部内務省所管第一款第二十三項及第三款第三項ノ削除説ガ出マシタ、此削除説ニ附イテハ採決致シマセヌ、原案ニ附イテ採決致シマス、先ヅ此内務省所管ノ第一款第二十三項、第三款第三項ニ附イテ採決ヲ致シマス、原案ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數  
○議長(片岡健吉君) 多數ト認メマス、原案通決シマス、其他ハ修正説モ出テ居リマセヌ、委員長ノ報告通原案デ御異議ハアリマセヌカ  
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ原案通ニ決シマス、議事日程ノ第二、特追第一號明治三十三年度各特別會計歳入歳出總豫算追加案、全部ノ議題ニ供シマス、是モ修正モ何モアリマセヌカラ、委員長報告通御異議ハアリマセヌカ

二 (特追第一號)明治三十三年度各特別會計歳入歳出豫算追加案

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ  
○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ原案通決シマス、議事日程第三、追第三號豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲナスヲ要スル件、是モ全部ヲ議題ニ供シマス、是モ委員長報告通原案ニ御異議ハアリマセヌカ

三 (追第三號)豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ  
○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ原案通ニ決シマス  
○恆松隆慶君(百二十六番) 此次ノ日程第四ヨリ第十一マデハ、各種ノ増稅案ニ關係スルモノデゴザイマス、同一委員ニ付託シタモノデゴザイマスカラ、其報告ノ便モアリ、旁、以テ一括トシテ議題ニサレンコトヲ望ミマス  
○金森吉次郎君(七十一番) 私ハ此第四ノ前ニ、此末ニ出テ居リマスル十二ノ議事日程ヲ繰上ゲテ

〔イケンナイ〕ト呼フ者アリ  
○議長(片岡健吉君) 議事日程ノ變更ヲ求ムル動議デアリマスカ  
○金森吉次郎君(七十一番) 何分是ハ先決シテ、ソレカラ増稅ノコトヲ決セナケレバナリマセヌカラ……

〔異議アリ〕ト呼フ者アリ  
○議長(片岡健吉君) 議事日程ノ變更ニハ贊成ガアリマスカラ、採決ヲ致シマス、第十二ノ議事日程ノ第四ノ日程前ニ議サウト云フ、議事日程變更ノ緊急動議ヲ出サレマシタ、贊成ガアリマスカラ採決致シマス、議事日程變更ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數  
○議長(片岡健吉君) 少數ト認メマス、恆松隆慶君ノ動議ニ贊成ガアリマスカ  
〔贊成々々〕ト呼フ者アリ  
○議長(片岡健吉君) ソレデハ採決致シマス、第四ヨリ第十一マデヲ一括シテ議題ニシヤウト云フニ、同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

- 起立者 多數
- 四 酒造稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
  - 五 酒精及酒精含有飲料稅法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
  - 六 沖繩縣酒類出港稅則中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
  - 七 酒精酒類其ノ他酒精ヲ含有スル飲料輸出下戻金ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
  - 八 醫藥用、工業用酒精稅法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
  - 九 麥酒稅法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
  - 十 砂糖消費稅法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
  - 十一 關稅定率法及同法附屬輸入稅表中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- (星亨君演壇ニ登ル)

○星亨君(二百四十一番) 諸君、本日議事日程ノ第四ニナッテ居リマス酒造稅法中改正法律案其他七件ニ附イテ、委員會ノ經過ト結果ヲ報道致シマス、私ガ委員長ニ、ソレカラ西原清東君、山口熊野君ガ理事ニ當選致シマシタ、ソレヨリ會ヲ開キマスコトガ凡ソ四回、回數ハ少ウゴザリマスガ、時ヲ長クシテ一時ヨリ四時五時頃マデモ致シマシタカラ、平生ノ回ヨリハ、四五回ハ却テ七八回位ナ價ガアラウト考ヘテ居ル、ソレデ先ヅ大體ノ經過ヲ御報道致シマスナラバ、色々取調ベタル結果ニ附イテ種々ニ議論モゴザリマスシ又ハ政府當局者等モ出席セラレテ、ソレノ取調ヲ致シマシテ、或ハ此酒造稅ニ附イテハ率ノ高イトカ低イトカ云フコトモアリ、砂糖稅ニ附イテハ種々ニ又問題モ起リ、其他或ル一方ニ向ッテハ増稅ノ目的、若クハ或ハ又財政上ノ經過、サウ云フ點マデ立入ッテ調ベテ、遂ニ今日ノ御報道スルヤウナ結果ヲ得タ譯デアリマス、ソレデ是ヨリ修正ガ随分ゴザイマスカラシテ、一々其修正ノ點ヲ短簡ニ御話ヲ致サウト考ヘマス、先ヅ此議事日程ノ順序ニ依リマシテ、酒稅ノコトニ附イテ御報告ヲ致サウト考ヘル、此酒稅法案ノ第四條ニ於テハ、政府案ヲ見マスルト第一種二種ダケニ限ッテアリマスノデゴザイマス、然ルニ委員會ノ修正ハ第三種ト云フモノヲ茲ニ加ヘタノデアアル、サウシテ又此文章等モ同シ意味デゴザリマスケレドモ、一ツノ項ニ政府案ニ於テハ分ッテゴザリマスノヲ、サウセズニ第一種二種ノ中へ、其コトヲ入レルト云フヤウナコトニナッタルガ、修正ノ違ヒデゴザリマスノデアアル、ソレデ第一種中ニ於テハ「酒精分二十度以下ノ清酒濁酒白酒味淋及甘諸ヲ原料トシテ製造シタル燒酎ニシテ酒精分三十度以下ナルモノ」是ダケガ政府案ト違ッテ居ルノデアアル、此中ニ大抵清酒、濁酒、白酒、味淋ト云フモノハ、政府案ト同シコトデアアルガ、唯其甘諸ヲ以テ製造シタル燒酎ト云フモノガ別ニナッテ、ソレヲ入レル結果ト致レテ、斯ル修正ヲ致シタト云フコトニナルノデアアル、ソレカラモウ一ツハ政府案ニ據ルト、此酒精ノ容量ヲ四十度ト云フノデゴザイマスガ、之ヲ四十五度即チ五度殖シタノデアアル、是ハ酒屋其他ノ諸君ハ十分御承知デアラウガ、現在ノ燒酎ニ附イテハ或ハ四十一二度マデ進ム燒酎ガアルノデアアル、サウ云フ所ニ致シテ四十度トナッテ居ルト、非常ニ租稅ヲ取ルヤウニナルノデアアルカラ、サウ云フ點カラシテ四十五度ガ相當デアアルト云フノデ、政府案ノ四十度ヲ四十五度ニ致シタ、ソレカラ第三種ト云フノハ、別ニ變ッタルコトハナイ、前ノ結果即チ此甘諸ト云フモノヲ前ニ入レマシタ結果トシテ、第三種ト云フモノモ出來タ譯デアリマス、ソレカラモウ一ツハ、此一項ヲ加ヘタノデアハナイ、前政府案ノ中ノ純酒精ト云フノヲ酒精分トナッタ、是ハ純酒精ト云ッテモ、酒精分ト云ッテモ同シコトデアアルガ、前ノ方ニ酒精分トナッテ居リマスカラシテ、政府案ヲ酒精分ト變ヘ、ソレカラシテ「原容量百分中ニ包含スル」是モ矢張政府案ヲ變ヘタ結果トシテ茲ニ是ダケノ文字ヲ入レナケレバ、元ノナイ所ノモノニナッテ分リマセヌカラ、入レルコトニナッダ、或ハ其次ニハ「比重ヲ有スル酒精ノ容量」斯ウ云フノハ、前ノ改

正ノ結果トシテ入ッタル御承知ヲ願ッテ置キタイノデアアル、其次ニ政府案ニ於テハゴザリマセヌガ、今日行レテ居ル所ノ法律案ノ中デ、第十九條ガゴザリマスガ、其十九條ヲ聊カ修正ヲ致シタコトニナッテ居ルノデアアル、其十九條ハ收稅官吏ハ酒類ヲ製造スル者又ハ之ヲ販賣スル者ノ所持ニ係ル酒類、是ハ即チ前ノ現在ノ法律ニハナイノデアアルガ、今日ハ之ヲ入レル必要ガアル、即チ販賣者トカ若クハ酒ヲ製造スル者ノ所持ニ係ッテ居ル酒ヲ調ベナケレバナラス、今マデハ帳簿等ヲ調ベタガ、尙ホ酒モ調ベナケレバナラスト云フ議論カラシテ、今日ノ法律ノ中十九條ノ中ヲ改正シタコトニナルノデゴザリマス、ソレカラ二十二條ハ政府ノ原案ニモゴザイマスガ、其中僅カ修正ヲ致シタノデアアル、其他後トノハ皆多クハ此罰金ノコトニ附キマシテ、政府案若クハ現在ノ法律ヨリ總テ高ク致シタコトニナルノデアアル、例ヘテ見レバ二十二條ノ如キモノハ、政府ノ原案ニ據ルト二十圓ト云フノヲ五十圓トシ「五十圓以上千圓以下」トアルヲ「五千圓以下」ト、斯ウ云フヤウニ修正ヲ致シテ、其他政府ノ原案若クハ原案ニナクシテ、現在ノ法律ニアルモノモ、皆此趣意ヲ以テ此罰金ハ高ク致シタコトニナルノデアアル、其趣意ハ如何ナル趣意デアアルカト申セバ、今日實際ノ經驗ニ依ッテ見ルト、罰金ガ安イガタメニ良クナイコトヲ致スト云フ結果、却ッテ租稅ヲ適レシムルト云フヤウナコトニナルカラ、即チ相當ナルサウ云フコトヲ防グガタメニ、相當ノ高イ所ノ罰金ニ致シタガ宜シト云フ趣意デ、右ノ如ク修正ニナリマシタノデアアル、デ唯今申スガ即チ酒造稅改正案ニ於ケル所ノ、委員會ノ修正案ノ大體デゴザリマス、是ニ附イテハ少數者ノ意見ガ出テ居リマスガ、即チ少數者ノ意見ハ外デモナイノデアアル、之ヲ要スルニ一圓宛少クスルト云フノガ、少數者ノ意見デアアルノデアアル、例ヘバ第一種ハ十五圓トアルヲ十四圓ニシ、第二種ハ十六圓トアルノヲ……ヤ一圓若クハ二圓、ソレ故ニ第一種ニ於テハ十五圓ノモノガ十四圓ニナリ、第二種ニ於テハ十六圓ノモノガ十二圓ニナッテ居ル、ソレカラシテ第三種ニ於テハ十五圓ノ——矢張是ハ十六圓ノモノヲ十五圓ニ致シテ居ル、第四種ト云フモノヲ別ニ拵ヘテアリマスガ、是ハ第三種ト同シモノニナッテ居ル、ソレカラ是ハ御注意マデ申上ゲテ置キマスガ、此少數意見者ノ中、第八條第二項中百分ノ二以內ヲ百分ノ五以內ニ改ムルト云フコトハ、是ハ委員會ニ於テ少數意見トシテハ出テ居ラヌノデアアル、然ルニ少數意見トシテ蕪蕪版デアハナイ、是ニハゴザリマスガ、此點ハ實際ノコトヲ申セバ、委員タル高木君ガ此說ヲ出シテ、田口君ガ贊成シタダケデ、二人ガ——是ニハ贊成ガナカッタノデアアル、然ルニ委員會少數トシテハ此八名ノ人ガ出シテ居リマスガ、此一點ダケハ委員會ニ於テハ少數意見ハ成立ッテ居ラヌト、委員長ハ認メマスカラ、是ハ間違ヒト考ヘマス、之ヲ御報道致シテ置キマス、次ニハ酒精及酒精含有飲料ノコトデゴザイマスガ、是レ亦ソレノ修正ガゴザイマシタガ、是ハ別ニ申ス程ノコトモゴザイマセヌガ、之ヲ要スルニ酒稅法案ガ改正ニナリマシタ結果トシテ、或ハ製造スル者、或ハ之ヲ販賣スル者ノ所持ニ係ル

酒類ト云フヤウナ字ガ、皆茲ニ出來ルヤウニナツタノデアツテ、又ハ其他此罰金等ハ矢張之ヲ多クシメト云フノデ、特ニ變テ所ノモノハゴザリマセヌカラ、即チ之ニ就イテハ深ク御報告ヲ致サヌデモ宜カラウト考ヘテ居ル、ソレカラ次ニハ沖繩縣ノ酒類出港稅則中改正法律案、此分ハ唯罰金ニ附イテ多ク致シメダケニナツテ居リマス、其結果トシテ一項ヲ設ケテ「前項ノ酒類ハ云々」ト云フコトガ出來タケテ、詰リ罰金ガ少ナイノヲ多ク致シメト云フコトニ止ツテ居ルノデゴザイマス、次ハ酒精、酒類其ノ他酒精ヲ含有スル飲料輸出下戻金ニ關スル法律案デ、是モ本日ノ議事日程ノ第一ニゴザイマス所ノ、酒稅ノコトガ變リマシメテ結果ト致シマシテ、即チ甘藷ヲ原料トシテ製造スル燒酎ト云フ字ガ加ラヌノデゴザイマス、先ノ結果デゴザリマス、ソレカラ次ハ醫藥用、工業用酒精稅法律案、是ハ別ニ修正スル所ハゴザリマセヌデ、原案通ニ可決致シマシタデアアル、次ハ麥酒稅法律案、是ニハ修正ガアリマシタケレドモ、之ヲ要スルニ前ノ酒稅法案ノ修正ノ結果デゴザリマスノデアアル、又ハ罰金ヲ多クスルト云フコトニナツテ、其他別ニ變テタコトハナイノデアアル（「少數意見ガアル」ト呼フ者アリ）マダ報告ヲ致シマセヌ、次ニ報告スル積テアル、ソレカラ之ニ對シテハ少數意見ガゴザイマス、此際ニ於テ委員會ノ有様ヲ御報告致シテ置クガ必要ト考ヘルノデアアル、麥酒ニ對シテハ或ハ二圓、或ハ四圓、若クハ五圓ト云フ説ガ出マシテ、皆潰レテシマヒマシタガ、五圓ト云フノニ對シテハ少數意見ガゴザリマス、其他ニ就イテハ實ハ少數意見ト云フ程ノ贊成者ノ數モナイ位デアアリマシテ、此五圓稅ニハ、即チ少數意見ヲ報道スルダケノ委員ノ數ガゴザリマシタカラ、是ハ少數意見トシテ出テ居リマスデアアル、次ハ砂糖消費稅、之ニ對シテハ其四條ニ修正シテ、四條ニ追加ヲ致シタ分ガゴザリマスノデアアル、第四條ニ追加ヲ致シタノデアアル、ソレハ其「政府ニ於テ相當ト認ムル擔保ヲ提供スルトキハ六箇月以內消費稅ノ徵收ヲ猶豫スルコトヲ得」此ノ場合ニ於テハ「政府ハ其ノ砂糖、糖蜜又ハ糖水ノ見本ヲ採取スルコトヲ得」ト、ソレカラ前項云々ト是ダケガ即チ修正ニナツメノデアアル、而シテ此修正ノ意味ト云フノハ、詰リ稅ヲ徵收スルトキニ方ツテ、或ハ砂糖ノ色トカ或ハ其他ノコトデ、雙方ニ爭等ガ起ツタトキニ方ツテ、其處ニ於テ一時即チ決スルコトガ出來ナイ時分ニ、先ツ其極メテ所ノ稅ハ拂ハシメテ、而シテ其タメニ擔保ヲ入レル——金ヲ拂フカ若ハ擔保ヲ入レテ、而シテ六箇月ダケハ猶豫シテ、六箇月後ニナツテ、或ハ其擔保ヲ取戻スカ、實際拂テシマツタ擔保ヲ取戻スカ、又ハドウスルカト云フヤウナ、是ハ猶豫ヲ與ヘテ置ク方ガ當業者ノタメニ都合ガ宜シ、丁度稅關ナドテ所謂英吉利デ言フト「オンドルプロテスト」デ、金ヲ拂フノト同ジモノデアアル、稅關等ニ附イテハ是ガアルカラシテ、斯ウ云フ部分ヲ入レテ置イタ方ガ宜カラウ、斯ウ云フコトデ、詰リ此四條ニ幾分ノ追加修正ヲ致シタノデアアル、此次ハ罰金、即チ罰金ヲ多ク致シタト云フコトデアアル、モウ一ツハ十八條ニ於テ、一番先委員ニ付託シタル所ノ政府ノ原案ニハ、本法ハ明治三十四年十月一日ヨ

リ施行スルト云フコトデアツタガ、委員會ヲ開イテ居ル間ニ、政府カラレテ又修正案ヲ出シテ、本法ノ施行ハ勅令ヲ以テ定ムル修正案ガ出テ參々デアアル、サウ致シマス詰リ政府ノ原案ト云フモノハ、今申ス所ノ本法ノ施行ハ勅令ヲ以テ定ムル、斯ウ云フノガ原案デゴザイマスノデアアル、而シテ之ニ對シテ修正意見ハ尙ホ其前ノ政府ノ原案ノ如ク、施行ノ期日ハ明治三十四年十月一日ヨリ之ヲ施行スル、斯ウ云フコトニ委員會デハ修正ニナツタノデアアル、其他砂糖稅ニ附イテハ別ニ修正ノ項モナク、又御報告スル程ノコトモナイト考ヘマス、次ニハ海關稅デアリマス、海關稅ノコトニ附イテハ多少修正ガアリマス、此先ツ御報告致シマスノハ、此チヨット文字ヲ直シテ置カナケレバナラヌ所ガアルガ、此六十九ノ「メチレーテット、アルコホル」ト書イテアル、此「ホ」ノ字ハ矢張前ノ酒精「アルコール」ト云ツタ「ホ」ヲ長ク引張ツタヤウニシテ置カナケレバナラヌ、即チ「ホ」ハ違ツテ居ルト云フコトニ修正ヲ願ツテ置カナケレバナラヌ、本當ハ「ホ」ノ方ガ宜イカモ知レマセヌ、モウ一ツハ六十九ニ甲乙ノ乙ノ方ニ、同十五以上ト書イテアル、是モ「ノモノ」ト云フ三字ヲ入レテ置ク方ガ宜イ、即チ落チタ、前ニモアリマスカララテト對スルタメニ、サウ願ツテ置キタイ、序ニモウ一ツ申落シタコトガアル、酒造稅法律案ノ中ニモウ一ツ違ツテ居ル所ガアル、酒造稅法律案デナイ、酒精及酒精含有飲料稅法案、此中第四條ノ「一番初ニ、精酒「精シイ酒」ト書イテアル、精酒デアアルガ是ハ「清」ト云フ所謂「キヨイ」ト云フ字デナケレバナラヌノデアアル、即精酒ノ「精」ニアラズシテ「キヨイ」ト云フ「清」ノ字デアアルカラ、是モ御修正ヲ願ツテ置ク、ソレカラ海關稅ノコトニ復リマシテ、海關稅ノ中ニ修正ガゴザイマスノハ、第五條第一項十號但書云々ト云フコトハ、是ハ自然此度ノ他ノ法律案ヲ修正セル結果トシテ、是ハ斯ウ云フコトニ改メネバナラヌノデアアル、ソレカラシテ第十六ノ糖菓類ト云フ、今二十六ノ現在ノ海關稅ノ内ヲ二分チ、甲乙ト分ケテ、甲ヲ菓子デ四割、ソレカラシテ乙ハ「砂糖糖蜜若ハ糖水ヲ以テ貯藏シタルモノ」是ハ二割五分、二割五分ハ現在ノ定率デアアルノデアアル、而シテ甲ノ方ノ菓子トシタノハ四割ニシタノデアアル、是ハ此度砂糖ノ消費稅ヲ內國ニ於テ取リマスレバ、ソレガタメニ內國ノ砂糖ヲ以テ造ル色ミナモノト云フモノハ、多クノ金ヲ拂ハネバナラヌ、高イ金ヲ拂ハナケレバナラヌ、然ルニ外國カラ輸入スル砂糖ノ原料トナツテ居ル菓子ノ如キモノハ、矢張現在ノ二割五分デハ平均ヲ得ナイト云フ議論デ、遂ニ四割ト云フコトニ改メテ譯デアアル、ソレカラ六十九ノ「酒精アルコール」毎リットル四十二錢、原案ハ四十錢トアルノデアアル、四十二錢ト「二」ノ字ヲ此處ニ入レメノハ、詰リ「アルコール」ヲ九十五度位ニ積ツタナラバ、四十錢デモ宜シイカモ知レマセヌガ、若シ「アルコール」ガ九十五度以上ノ「アルコール」ガ來ルト云フコトニナルト、四十錢デハ内地ノモノヨリ安イモノニナツテ來ル、内地デハ一度ニ附イテ七十五錢デアアル、サウ致シマスト九十四五度ノモノハ、丁度海關稅ノ四十錢位デ丁度平均ヲ致シマスガ、九十四五度ヨリ上ニナツタトキニ

ハ、却テ外國ノ「アルコール」ガ、日本ノ稅ヲ掛ケタモノヨリ安クナツテ來ル  
ト云フコトニナルカラ、是ガ都合ガ惡ルイト云フコトデ、遂ニ一錢殖ヤス、  
二錢殖ヤスト丁度九十五六度ノ外國カラ來ル「アルコール」ト日本ノモノト多  
少僅ナ差位デアツテ、内地ニ害ヲ及スコトハナイト云フガタメニ、一錢ト云  
フ「二」ノ字ヲ入レタノデアアル、外ノ「二」ハ矢張サウ云フ割合ニナル、而シテ尙  
ホ六十九ノ一ト六十九ノ二、是ハ新ニ海關稅法律案ノ中ニ入レタノデアアル、ト  
云フモノハ「メチレ」テットアル「アルコール」ナゾ、各種ノ丁幾ト云フモノハ、是  
ハ混成酒等ヲ造ルガタメニ、餘程都合ノ好イモノデアアルノデアアルカラ、即チ  
此酒稅——酒業者ヲ防グノ結果ト致シテ、斯ルモノハ入レテ置カナケレバナ  
ラヌ、又ハ酒精ト云フ前ノ酒精ニ對シテモ斯ルモノハ入レテ置カナケレバナ  
ラヌ、ツレガ落チテ居ルト云フガタメニ、委員會ニ於テハ之ヲ入レルコトニ  
致シタノデアアル、唯今申スガ如ク海關稅ニ於テノ修正ハ、右ノ如クニナルノ  
デアアル、デ修正案ハ右御報道致シタコトデゴザイマスルガ、是ニ附イテハ  
詰リ委員會ノコトニ附イテハ、元來増稅反對ト云フモノト、増稅贊成ト云フ  
モノニ附イテハ議論ガ起ツテ、其結果大體ニ於テ増稅ニ反對カ贊成カノ決ヲ  
採ツテ、サウシテ増稅ガ少カッタガタメニ、修正ニ入ツテ右ノ如ク修正致シタノ  
デアゴザイマスカラシテ、左様御承知ヲ願ヒタイノデアアル、是デ御報告ハ濟ミ  
マシタ、御質問等ガアルナラ十分御質問ヲ受ケテ宜イノデアアル

○武市庫太君(百四番) 委員長ニ 質問致シマスガ、此砂糖消費稅、此法案ノ  
實施期限デゴザイマス、曩ニ政府ハ三十四年十月一日ト云フコトデアツタガ、  
然ルヲ委員會ニ討論中ニ、勅令ヲ以テ其期日ヲ定メルト云フコトニ修正サレ  
タノデアアル、即チ政府ハ曩ニ出サレタ十月一日ハ不當デアアル、十月一日ニ  
之ヲ實施スルノハイケナイト云フ考カラシテ、サウシテ其期限ノ宜シキニ處  
シテ、政府ノ見所ヲ定メテ、サウシテ矢張豫メ期限ヲ規定シテ置カヌト、  
斯ウ云フコトニナツテ、是ハ或ハ見越輸入モアルトカ、又其輸入ガ澤山デ金貨  
流出ノ恐ガアルトカ、種々ノ懸念カラ斯ク修正サレタモノト信ズルノデアアル、  
然ルニ委員會ハ更ニ修正シテ、十月一日即チ先キニ政府ガ出シテ居タ案ト  
同様ナコトヲ修正サレマシタガ、政府ノ當局者ガ更ニ再調査シテ、ドウシ  
テモ十月一日デアハイケナイト云フコトヲ確信シテ、種々ノ調査ヲシテ修正シ  
タモノヲ、又委員會ガ十月一日ニシタト云フノハ、其見越輸入トカ或ハ輸入  
ノ夥シイガタメニ、金貨ノ流出トカ其他ノコトハ決シテナイト云フ、御認メニ  
ナツタニ相違ナイト思ヒマスガ、併シ此期限ノコトハ、此法案ニ對シテ大ナ  
ル關係ヲ有チ、又國庫ノ收入ノ上ニモ非常ナ關係ヲ及スコトデアラウト思ヒ  
マスカラ、當ニ通常法律施行期限ヲ定メルモノト一定ニハ考ヘラレナイ、委  
員會ニ於テモ大ニ是ニ附イテハ、確タル十分ナル御見込ガアツタラウト思ヒ  
マス、其邊ヲ一應承リマス

○星亨君(二百四十一番) サウスルト簡短ニ云フト、ドウ云フ風ニナルカ、委  
員會ニ現レタ事實ヲ、此處ニ言ヘト云フコトニナルカ、委員會ノ人々ノ腹ノ

中デ考ヘタコトヲ、此處デ言ヘト云フコトニナルカ  
○武市庫太君(百四番) 別ニ腹ノ中ノコトハ分リマスマイガ、政府ガ先キニ  
十月一日ト爲シタルモノヲ、ツレヲ修正シテ勅令ヲ以テ定メルト云フコトニ  
マデ、政府ハ再三調査ヲ遂ゲタ結果デ出シテアル、ツレヲ委員會ハ十月一日  
ニサレタ所ヲ見ルト、其政府ノ懸念ト云フモノハ、委員會ニ於テハナイ、即  
チ勅令ヲ定メル必要ハナイト云フコトニ御認メニナツタ、其理由ヲ……  
○星亨君(二百四十一番) 宜シイ分リマシタ、斯ウ云フコトニナリマスノデ  
アル、委員會ニ於テハ見越輸入モアルト云フ論モアル、見越輸入モナイト云  
フ議論モアル、ツレカラシテ其他其例ヘバ財政上ニ大ニ困難スル、即チ見越  
輸入ガアリトスルナラバ、非常ニ金貨ガ流出スル、其結果財政ガ困難スル  
云フ議論モゴザリマシタノデ、ツレデサウ云フヤウナ議論ガゴザイマシタガ、  
決ヲ採ルニ至ツテハ、即チ十月一日ガ宜シイト云フコトニナツタノデアアルカラ、  
其多數ノ人ノ腹ノ中ハ、如何ナルコトヲ考ヘテ居タカ、一向分リマセヌガ、  
サウ云フヤウニナツタノデアゴザイマスノデアアル、ツレ故ニ其多數ノ人ノ意志  
ハ何處ニ在ルカト云ヘバ、委員長ハ其處マデ立入ルコトハ出來ナイノデアアル、  
議論ハ其通ドチラモ出テ居タノデ、サウ云フコトニナルノデ、ツレデ宜シウ  
ゴザイマスカ

○菅野善右衛門君(百八十五番) 百八十五番  
○議長(片岡健吉君) 質問デスカ  
○菅野善右衛門君(百八十五番) 質問デスカ  
○星亨君(二百四十一番) モウ宜ウゴザイマスカ  
○菅野善右衛門君(百八十五番) 私ハ日程第四デゴザイマス、酒造稅法中改  
正法律案ノ第四條ノ第一種デゴザイマス、是ハ大藏大臣ニ聽カウト思フ、此  
法案ノ精神、即チ法案ノ根柢ニ附イテ、私ハ疑ガアルノデアゴザイマス、ツレ  
デ一石十五圓ト云フコトニ法案ハナツテ居ルノデアゴザイマスガ、凡ツ酒ニハ  
良イ酒ト惡ルイ酒ガアツテ、從ツテ價ノ上ニ非常ナ差ガアル、私共ノ方デ通常  
賣買ニナル酒ハ一石二十六圓、若クハ三十圓デアアルノデアアリマス、又東京  
ニ來テ見ルト、東京ノ酒ハ五十圓トカ六十圓ニナツテ居ルノデアアリマス、然ル  
ニ一石十五圓ト致シマスルト、良イ酒ニ對シテハ半額ノ稅シカ掛ラナイ割合  
ニナル、又惡ルイ酒ニ對シテハ倍ノ稅金ガ掛ルヤウニナツテ居ル、私ハ是ハ是  
非從價稅ニ爲シタ方ガ相當デアラウト思フデアリマス、然ルニ造石稅トシテ  
一石二十圓トカ十五圓トカ定メマスル譯ハ、ドウ云フ譯デ此ノ如ク爲スノデ  
アルカ、實ニ甚ダ不公平極テ居ルノデ、私ハ惡ルク考ヘルト内閣ノ諸君ノ如  
キ、貴衆兩院ノ諸君ノ如キハ、良イ酒ヲ飲ムカラ稅ヲ安クスルデアナイイカ、  
此法案ヲ定メル所ノ諸君ハ左様ナ奇怪ナコトハアルマイケレドモ、法案ヲ定  
メル議會ノ中等以下ノ人民ハ重ニ惡ルイ酒ヲ飲ンデ、稅金ヲ倍納メル割合ニ  
ナツテ居ル、ツレデ從價稅ニ爲スト平等ニナルガ、之ヲ從價稅ニ爲スコトハ  
出來ナイ點ハ何等ノ點ニアルカ、ツレヲ大藏大臣ニ委シク承リタイト思フノ

出ルナクハ何等ノ點ニアルカ、ツレヲ大藏大臣ニ委シク承リタイト思フノ

テアル

○議長(片岡健吉君) 渡邊大藏大臣

○大藏大臣(子爵渡邊國武君) 唯今ノ御問ハ、酒稅ヲ從價稅ニシタラバ宜カラウト云フコトノヤウニ承リマシタガ、是ハ一種ノ別段ノ意見ダカラ、之ニ附

イテマダ論ズル場合デハナイト思ヒマスガ、政府ガ從來ヨリシテ從價稅ニセズニシタノハ、是ハナカク從價稅ト云フモノハ煩雜デ行ヒ得ベカラザルモノデアラカラ、此ノ如ク爲シ來タラバ、併シ此中ニ自ラ酒精分ノ多少ニ依ッテ區域ガ定テ居ルカラ、大差ハナイモノト見タラバ、是ダケノコトヲ御答シマ

○菅野善右衛門君(百八十五番) 尙ホ御尋シマスガ、今大藏大臣ノ說明ニ依リマス、煩雜デ出來ナイト云フガ、其煩雜ナル有様ハ如何ナル状態ニナッテ居ルカ、委シク御說明ヲ聞キタイ

〔無用々々〕ト呼フ者アリ

○大藏大臣(子爵渡邊國武君) 煩雜ト云フコトハ、即チ手數ガ掛ッテイケナイト、斯ウ云フコトニ過ギナイ(笑聲起ル)尙ホ過刻特別審査委員ノ報告ニ附

イテ、政府ノ意見ヲ此場合ニ於テ陳述スル必要ガアルト考ヘマス、ソレハ此各種ノ稅法案ニ附イテ、特別審査委員會ノ審査修正セラレタ所ニ附イテ、大要政府ノ同意ヲ表シテ居ルコトデアアルガ、砂糖消費稅法案ノ第十八條施行期限ノコトニ附イテハ、反對ノ意見ヲ表明シテ置キマス、是ハ成ル程當初政府ヨリ出シタ案ハ、十月一日ヨリ施行スト云フコトニナッテ居リマシタ、是ハ此ノ如キ新ナル法案ハ設備モ完全ニシ、訓練モ盡シタ後デナケレバナラヌカラ、相當ノ猶豫ヲ置イタデアアルガ、本案ガ提出セラレテ以來頻ニ見越輸入モ起ルト云フ說ガアツテ、既ニ特別審査委員會ニ於テモ、政府ノ意見ヲ尋ネラレ

タコトモアリマシタカラ、是ハ尙ホ一考スベキ價値ノアル論デアアルカラ、政府ニ於テハ尙ホ審議ヲ盡シタ上ニ、何分ノコトヲ報道シヤウト云フコトニ約束シテ置キマシタ、其後追調ベテ見マスル所ガ、是ハ全ク風聲鶴唳ノミデハナイ、即チ一月ニ於テ砂糖ノ横濱稅關ダケデモ、一月ト二月ノ前半箇月トニ於テ、砂糖ノ輸入ガ合テ二百二十九萬圓デ、又一月ノ下半月ト二月ノ上半月ト併セルト云フト、八十三萬圓バカリ、二月ノ上半季ノ方ガ増シテ居ル、是ニ由テ之ヲ觀ルト云フト、所謂見越輸入ガアルノデアアラウト云フコトハ、決シテ唯架空ノ說デハナイ、斯ウ極々以上ハ此稅法案ノ施行ハ、一日モ早クスルガ宜イト云フコトニ政府ハ決シマシタカラ、即チ前ニ特別審査委員會ニ於テ約束シタ通、修正ノ意見ヲ決シテ、施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ定ム

ルト云フ修正案ヲ出シマシタ、ニモ拘ラズ、特別委員會ニ於テハ政府ノ初メ出シタ通、十月一日ト云フコトニ修正セラレタデアリマス、之ニ附イテ政府ノ考ヘル所ニ依ルト、果シテ此一月乃至二月ノ前半箇月ノ有様ヲ以テ見ルト、愈見越輸入ガ多クッタキニハ、第一ニハ國家經濟ノ上ニモ餘程ノ

影響ヲ持ッデアラウ、第二ニハ收稅上財政上ニモ影響ヲ持ッデアラウ、第三ニハ四國其他砂糖ノ生産地ノ生産者ニ餘程害ヲ與ヘルデアラウ、第四ニハ又見越輸入ヲシタルモノヲ、過度ニ需要ニ應ゼザル供給ヲスルト、砂糖ノ直段ガ下ッテ損失ヲ來ス、旁、其影響スル所大ナル譯デアリマスカラ、本案ハ一日モ速ニ準備ノ整頓次第ニ施行スルガ宜イト云フノデ、即チ本法施行期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムト云フ、修正ヲ出シタデアリマス、政府ハ諸君ガ十分ニ公平ナル判斷ヲ下サレテ、此一箇條ハ政府ノ原案、即チ過日修正シテ出シタ所ノ案ニ復セラレンコトヲ希望致シマス

○星松三郎君(二百八十一番) 大藏大臣ニ說明ヲ請ヒマス、唯今ノ御演說ニ附イテ一應御尋シマス、唯今大藏大臣ノ御演說ニ據リマスルト、他ノ事項ハ委員會ノ報道通デ宜シイガ、施行期限ニ對シテハ不同意ト云フコトデアアル、此案ハ元々政府ガ御出シニナッテ、完全ナモノデアアルト、議會ニ明言サレテアル所デアアルガ、例々御辭ノ心機一轉ト云フモノガ何時モ行レルモノデアアルカ、俄ニ修正ト云フコトニ相成リマシタガ、其修正モ段々御演說ノ様子ヲ承リマスレバ、四月一日ト云フコトニナサルガタメニ、殊ニ勅令ヲ以テ之ヲ定ムト云フノデアアルカ、或ハ其期間ハ勅令ヲ以テ定ムルト云フ範圍デアアルカラ、何時デモ之ヲ爲セ得ルト云フコトデアアルカラ、三月若クハ五月デモ宜シイト云フ御考デアアルカ、其ノ邊ノコトヲ伺ヒタイ、元來右様ナコトヲ修正ナサルト云フコトモ、過ッテ改ムルニ憚ル勿レデ宜シイカモ知ラヌガ、初ヨリ信シテ出シタモノヲ、營業者ガ斯ウデアアルト云フタメニ修正スルト云フコトハ、抑、自信ノナイコトデアアル、苟モ一國ノ大臣トシテ財政ヲ預ル者ガ、新稅ヲ起スニ當ッテツレ位ノ目先ノキカヌト云フコトハ、甚ダ不埒ノコトデアアル、故ニ私ハ施行期限ハ十月一日ニスルモ四月一日ニスルモ、是ナラデハナラヌト云フ、即チ心機一轉ト云フコトデアアルクシテ、自信ノ深キ所ヲ以テ御答ナサルコトニ願ヒタイ、勅令ヲ以テ之ヲ定ムト云フ曖昧ナ話ヲ以テスルト云フノハ、十月一日上云フコトハ不同意デアアルガ、四月一日ト云フコトハ、委員會ノ様子ガ形勢ガ面白カラス、殊ニ政友會諸君ノ熱心ニ御述ニナルト云フコトモ、四月一日ガ多イト云フ形勢ノタメニ、勅令ヲ以テ之ヲ定ムト云フコトニ、俄ニ御變リニナシタト云フコトハ、甚ダ謂レノナイコトデアアルト思フ、併ナガラ其期間ハ極露骨ニ言ッタナラ、四月一日ニスルノデアアッタト云フ御答ナラ、ソレデ宜シイカラ、十分御答ヲ願ヒタイ

○大藏大臣(子爵渡邊國武君) 唯今ノ御問ハ說明ヲシテ置イタ通、一日モ速ニ施行スル必要ヲ見ルガ故ニ、勅令ヲ以テ定ムル便利ヲ採ル、或ハ十月一日ヨリ早ク、寧ろ四月一日ヨリモ早ク、手續ガ整ヘバヤルト云フコトハ既ニ說明シテ置イタ、然ルニ再三問フト云フノハ甚ダ御分リニナラヌデアアル、就テハ尙ホ一言スル、本大臣ガ此修正案ヲ出シタノハ、何カ不可思議ナコトヲシタヤウノ一種、オナコトヲ云ハル、ガ、是ハ畢竟法律ヲ知ラナイ、立憲國ニ於テハ

影響ヲ持ッデアラウ、第二ニハ收稅上財政上ニモ影響ヲ持ッデアラウ、第三ニハ四國其他砂糖ノ生産地ノ生産者ニ餘程害ヲ與ヘルデアラウ、第四ニハ又見越輸入ヲシタルモノヲ、過度ニ需要ニ應ゼザル供給ヲスルト、砂糖ノ直段ガ下ッテ損失ヲ來ス、旁、其影響スル所大ナル譯デアリマスカラ、本案ハ一日モ速ニ準備ノ整頓次第ニ施行スルガ宜イト云フノデ、即チ本法施行期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムト云フ、修正ヲ出シタデアリマス、政府ハ諸君ガ十分ニ公平ナル判斷ヲ下サレテ、此一箇條ハ政府ノ原案、即チ過日修正シテ出シタ所ノ案ニ復セラレンコトヲ希望致シマス

○大藏大臣(子爵渡邊國武君) 唯今ノ御問ハ說明ヲシテ置イタ通、一日モ速ニ施行スル必要ヲ見ルガ故ニ、勅令ヲ以テ定ムル便利ヲ採ル、或ハ十月一日ヨリ早ク、寧ろ四月一日ヨリモ早ク、手續ガ整ヘバヤルト云フコトハ既ニ說明シテ置イタ、然ルニ再三問フト云フノハ甚ダ御分リニナラヌデアアル、就テハ尙ホ一言スル、本大臣ガ此修正案ヲ出シタノハ、何カ不可思議ナコトヲシタヤウノ一種、オナコトヲ云ハル、ガ、是ハ畢竟法律ヲ知ラナイ、立憲國ニ於テハ

法律ノ下ニ服從シナケレバナラナイ、帝國ノ法律デハ是等ノコトヲ政府デスルコトハ明ニ認メラレル、議院法ノ第三十條ニ「政府ハ何時タリトモ既ニ提出シタル議案ヲ修正シ又ハ撤回スルコトヲ得」トアツテ、何時デモ議案ヲ修正シ又全部撤回スルコトモ出來ルト云フコトハ、斯ノ如キ利害ノアル場合ヲ立法者ハ既ニ認メテ居ル、然ルニ之ヲ非難スルト云フコトハ、法律ヲ非難スルモノデアル、故ニ之ヲ一言致シテ置キマス

○議長(片岡健吉君) 關直彦君

〔議長々々〕ト呼フ者多シ

○議長(片岡健吉君) 發言ガ許シテアリマス

○關直彦君(六十八番) 大藏大臣ニ御説明ヲ願ヒマスガ、大藏大臣ハ段々考ヘルト云フト、見越輸入ガ多イト云フコトノ御調ガアツタサウデス、私ノ伺ヒマスルノハ、四月一日以前ニ到著スベキ見越輸入ノ額ハ、如何程デアルト云フ御調ガアリマシタカ、又其見越輸入ヲシタ人、若クハ會社ハ何人デアルカ、何會社デアルト云フコトヲ御調ガアリマシタカ、其事ヲ伺ヒタイ

〔大藏大臣子爵渡邊國武君演壇ニ登ル〕

○大藏大臣(子爵渡邊國武君) 何デスカ

○關直彦君(六十八番) 四月一日マデニ到著スベキ見越輸入ノ額ハドノ位デ、誰ガ注文シタカ

○大藏大臣(子爵渡邊國武君) 唯今申シタ通、見越輸入ハ稅關ニ依ッテ調べルヨリ外ナイ、四月一日マデニ幾ラ輸入スルト云フコトハ、是ハ商人ニ問ハネバ分ラヌ

○星松三郎君(二百八十一番) 議長々々

○議長(片岡健吉君) 二百八十一番、御質問デスカ

○星松三郎君(二百八十一番) 質問デス——大藏大臣ニ伺ヒマスガ、唯今大藏大臣ガ、エラウ法律家ヲ氣取リテ御演説ニナツタガ、是ハ修正ガ惡ルイト云フニアラズシテ、何故ニ自信ノ深カラザルヤ、先ニ十月一日ト云フコトヲ規定シテアリナガラ、之ヲアラツイテ四月一日トナツテ、今度ハシヤウガナクナツタカラ勅令ヲ以テ之ヲ定ムト云フ、自信ノナイ所ハドウデアアルカト云フ異味デ御尋シタ、若シ法律ヲ楯トシテ修正ヲ爲シ能フト云フコトハ宜シイトシテ四月一日ニヤルノデアアルカ否ヤ、其期間ハ勅令ヲ以テ定ムルト云フ上デ、何レノトキデアルト云フコトヲ、御尋申シタノデアアル

○議長(片岡健吉君) 御尋ノコトハ先キニ大藏大臣ガ答ヘラレテアルト思フ

○星松三郎君(二百八十一番) 期間ガ分ラナイカラ、ソレヲ御尋スルノデアアル、勅令ヲ以テ之ヲ定ムルト云フ範圍ニ於テハ、四月一日デアアルカ、若クハ三月中デアアルカト云フコトハ……

○議長(片岡健吉君) 議長ハ既ニ大藏大臣ガ説明サレテアルモノト認メマス  
○門馬尙經君(百八十四番) 議長

○議長(片岡健吉君) 質問デスカ

○門馬尙經君(百八十四番) ハイ質問デス——私ハ大藏大臣ニ一言ノ質問ガアリマス、大藏大臣ハ或ル議員ガ法律ヲ知ラナイト云フコトヲ明言サレタ、心機一轉スル大藏大臣ニ在ッテハ、斯ク十月一日施行、或ハ勅令、或ハ四月一日ト云フヤウナコトハ、珍シクハナイカ知ラヌガ、苟モ堂々タル日本ノ大藏大臣タル者ガ、先キニ葉煙草專賣法案ノ出タトキ、澤山ナ見越輸入モアツタト云フコトハ御承知ノ筈デアアル、然ルニ此度砂糖ノ法案ヲ出サル、ニ當ッテモ、見越輸入モアルト云フコトハ、先例ニ照シテモ是ダケノコトハ御調ニナラヌケレバナラヌト思フ、然ルニ議員ヲ責メルノ酷ナル法律ヲ知ラヌト云フ、無禮ナルコトヲ言ハレタ、ソレヨリカ大臣ガ見越輸入ノドウト云フコトヲ調ベラレヌノハ、ドウ云フ譯デアアルカ、心機一轉ノタメデアアルカ、ドウカト云フコトヲ御尋申ス

〔無用々々〕ト呼フ者アリ

○橋本島君(百六番) 議長、百六番、質問ガアリマス

○議長(片岡健吉君) 百六番

○橋本島君(百六番) 私ハ一應御問ヒ申シタイノハ、先キニ關君カラ大藏大臣ニ質問ヲセラレテ、即チ見越輸入ト云フノハ、四月一日マデニドラ程アルカト云フコトヲ尋ネマシタ所、大藏大臣ハ私ハ左様ナコトハ知ラナイ、商人ニ問ヘ、是ハ甚ダ大藏大臣トシテハ不親切極マル所ノ答辯デアアル、何ゼデアアルカト云ヘバ、既ニ大藏大臣ハ勅令ヲ以テ定ムルト云フコトヲシタノハ、見越輸入ガ澤山ニアルカラ、斯ノ如ク勅令ヲ以テ定ムルト云フコトニ、修正ヲシタノデアアルト云フコトヲ言ハレマシタ、然ラバ大藏大臣ハ既ニ見越輸入ナルモノハ、此後非常ニアルト云フコトヲ認メテ居ラル、ノデアアル、其認メテ居ラル、所ヲバ、關君ガ何程アルト云フ御考デアアルカト云フコトヲ尋ネマシタ所、大藏大臣ハ之ニ對シテ私ハ知ラヌ商人ニ問ヘ、何ノ言デアリマスカ、是等ノ如キハ大藏大臣ハ十分責任ヲ負ウテ御答ニナラナケレバナリマスマイト思ヒマス、故ニ此點ニ附イテハモウ一應私ハ大臣ニ伺ヒタイ

〔大藏大臣子爵渡邊國武君演壇ニ登ル〕

○大藏大臣(子爵渡邊國武君) ソレハ何ノコトデス、本大臣ハ既往ニ徴シテ將來ヲ推セバ見越輸入ガアル、即チ橫濱稅關ノ調ベダケデモ、一月二月——一箇月半ノ間ニ於テ二百二十九萬圓アツタカラ、是ヲ以テ之ヲ觀レバ見越輸入ガアルト云フコトヲ申シタ、然ルニ四月一日マデ幾ラアルト云フコトハ、私ガ知ラヌドロコデハナイ、滿場諸君誰モ知ツタ者ハナイ、然ルニ斯ノ如キ問ヲ發シテ無責任ト云フコトハ、誠ニ無理極マルト思ヒマス、御答ハ致シマセヌ

〔討論終結〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 少數意見ノ報告ガ出テ居リマスガ、西村眞太郎君ハ闕席ト見エマス

〔西村眞太郎君、イエ／＼居リマス〕ト呼フ

〔西村眞太郎君演壇ニ登ル〕

○西村眞太郎君(三番) 本員ハ本案特別委員會ノ少數者意見ノ報告ヲ致サウ  
ト存シマス、少數者ノ意見書ハ御手許ニ回テ居リマスルガ、簡短ニ要領ダケ  
申上テマス、政府案ハ酒造稅ノ第四條ニ於テ一種ニ區別セラレテ居ル、特別委  
員會ノ多數ハ三種ニ決議ヲ致シテ居ル、吾々少數者ハ之ヲ四種ニ分ケテ居リ  
マス、文意等ニ於テハ變リハゴザイマセムガ、唯此一種多イノハ濁酒ニ限  
テ、尙ホ一圓ヲ餘計ニ減シヤウト云フノデアアル、ソレデ少數者ハ濁酒、白酒、味  
淋、甘露、此四ツノモノヲ十四圓ト致ス、ソレカラ濁酒ヲ十三圓ニ、酒精四  
十五度以下ノ燒酎ヲ十五圓、ソレカラ酒精分四十五度ヲ越ユル燒酎ハ、一度  
毎ニ七十五錢、斯様ニ致シテ置ク、ソレカラ第八條ノ一條ヲ加ヘマシテ、此  
條ノ但書百分ノ二トアルノヲ、之ヲ百分ノ五以内ト致ス、之ニ就イテ星委員  
長ヨリ是ニハ兩森君ガ贊成ヲシテ居ナカッタト云フ報告ガゴザイマシタガ、是  
ニ現ニ起立ニナツテ居ッタ、今本人ニ開合セスレバ、起立シタニ相違ナイト云フ  
コトデアリマシタカラ、此處ニ申上ゲテ置キマス、ソレカラ麥酒稅ニ於キマ  
シテ七圓ト云フ政府案ヲ、之ヲ五圓ニ修正シヤウト思ヒマス、大體少數者ハ  
ソレダケノ少數意見デアリマス、聊カ其率ヲ減シマスル理由ヲ申上ゲタイト  
思フ、吾々少數者ハ大體ニ於キマシテ、其増稅ノ已ムヲ得ナイト云フコトヲ  
認メテ居ル、又其増稅ヲシテ此酒稅ナリ、砂糖稅ナリ、之等ノ消費稅ニ求ム  
ルト云フコトハ又同感デアリマス、然レドモ酒稅ノ如キハ御承知ノ如ク元ト  
四圓ト云フ所ヨリ打算致シマシテモ、屢増稅ヲ致シタモノデ、僅カコ、數  
年ノ間ニ於テ政府案ノ如ク致シマスレバ、殆ド四倍ニ垂トスルノデアアル、實  
ニ急激ナ増加ト言ハナケレバナラス、此急激ノ増加ニ附イテハ、當業者ノ困  
苦ト云フモノハ實ニ甚シイモノデアアル、見ルニ忍ビナイ有様デアアル、而シテ  
此本稅ノ如キハ、若シ政府案ノ如ク増加致シマスルトセバ、我國庫ニ收入  
スル所ノ金額ハ幾許デアアル、而モ六千万圓ニ垂トスルノデアアル、我國庫ノ歲  
入第一位ヲ占ムル所ノモノデアアル、ソレデアアルカラ此收入ト云フモノニ向ッ  
テハ、出來得ルダケ營業者ノ希望ニ副ヒ、出來得ルダケ便利ヲ與ヘ、之ガ發  
達ヲ害シナイヤウニ努メシケレバナラヌト思フノデアアル、而シテ今政府ガ此  
増稅ヲ要求シ來ル所ノ事項ヲ取調ベテ、是ガ財政ノ上ニ調査ヲ致シマスレ  
バ、強テ此政府案ノ如ク多額ニ之ヲ増徴シナケレバ、運轉上差支ガアルト云  
フコトヲ吾々ハ認メナイノデアアル、ソレノミナラズ一時ニ此多額ヲ増徴致シ  
マスレバ、造石數ハ從テ減ズルノデアアル、是マデ往々其例ガアル、ソレデア  
ルカラ或ル程度ニ於テ之ヲ減シマスルコトハ、率ノ上ニ於テ減ズルガ、實際ノ  
收入ニ於テサマデニソレヲ感シナイト云フ結果ニナルデアアラウト思フノデア  
アル、デ吾々ハソレコレヲ參酌致シテ、財政上ノ運轉ニ差支ヘザル程度ニ於テ、  
此減率ヲ爲サントスルモノデアアル、デ吾々ハ斯ノ如ク率ヲ減シマシテモ、少  
モ財政上ノ運轉ニ差支ヲ生ゼズシテ、而シテ當業者間ノ苦痛ヲシテ半分減ゼ  
シメルコトガ出來ル、相俟ッテ是ガ收入モ出來、當業者ノ發達ヲ空ウセズ、旨

ク是ガ結果ヲ見ルコトガ出來ルト云フ考ヲ持テ居ル、而シテ第八條ノ但書ヲ  
修正スルト云フ譯ハ、從來滓引ハ百分ノ二トアル、滓引ノ外ニ貯藏減量ト云  
フモノハ、事實ニ於テアルノデアアル、其貯藏減量ノ歩合ニ於キマシテハ、或  
ハ三步割、或ハ五分割、甚シキハ八步割トシマスガ、ソレ等ヲ參酌シマシテ  
百分ノ二トアルヲ、百分ノ五以内トスルト云フコトノ修正ヲ致サントスルモ  
ノデアアル、而シテ麥酒稅ヲ二圓ヲ減シタト云フノハ、此麥酒ノ未ダ造石數ト  
云フモノハ極少量デアアルカラシテ、之ヲシテ大ニ速ニ發達ナラシメシコト  
ヲ欲スルモノデアアル、ソレ故ニ今一時ニ多額ノ稅ヲ課スルト云フコトハ、是ガ  
發達ヲ阻害ナラシムル嫌ガアルト思フカラシテ、ソレヨリ二圓ヲ減シテ五圓  
トナサントスル考デアリマス、尙ホ序ニ當局大臣ニ一言希望ヲ述ベテ置カウ  
ト思ヒマスガ、吾々ハ此國庫第一位ヲ占メル所ノ此酒造稅デゴザイマスルガ  
故ニ、出來得ルダケ當業者ノ希望ニ副ヒ、之ガ便利ヲ與ヘタイト思フノデア  
リマス、就テハ酒稅ノ納稅期ト云フモノハ、彼ノ二月三月ト云フ月ガ續イテ  
居ルガタメニ、餘程其納稅ニ苦シムト云フ事實ガアルノデアアル、デアアルカラ  
之ヲ改メテ或ハ四月或ハ五月トスルカ、三月ヲ四月ニスルカ、五月ニスル  
カ、免ニ角二月三月ト續イテ居ルノヲ、幾分カ緩メタイト云フ希望ヲ持ッテ居  
ル、併ナガラ是ハ年度替リニ際シマスルガ故ニ、其金ノ運轉上如何アラウカ  
ト云フノデ、未ダ其調査ヲ全ウシマセムガ故ニ、少數者ハ茲ニ修正スルト云  
フ意見ヲ提出スルニハ至リマセムケレドモ、當局大臣ハソレ等ニ目ヲ著ケラ  
レテ、成ルベク是ガ運轉ヲ付ケル仕組ヲナシテ、一日モ早ク是等ノ納稅期ヲ  
更改アラシコトヲ望ムノデアアル、大體是ダケヲ述ベテ置キマス

○星亨君(二百四十一番) 議長  
○議長(片岡健吉君) 星亨君  
○星亨君(二百四十一番) チヨット質問致シタイ、今ノ滓引トカ云フノヲ三步  
引クト云フト、幾ラ増稅ガ減ズルノデスカ  
○西村眞太郎君(三番) 百分ノ二ヲ五ニシマスルト、先ヅ一箇年ニ凡ソ百六  
七十万違フダラウト思ヒマス  
○星亨君(二百四十一番) ソレカラ次ニハアナタノヤリヤウニスルト、濁酒  
ノ十五圓ヲ十三圓ニスルト、サウスルト、是ハ二圓引ケル譯ニナリマスナ  
○西村眞太郎君(三番) 左様  
○星亨君(二百四十一番) サウスルト其分ハ幾ラ減リマスカ  
○西村眞太郎君(三番) 一箇年ノ計算デスカ  
○星亨君(二百四十一番) 左様  
○西村眞太郎君(三番) 先ヅ十二三万圓  
○星亨君(二百四十一番) 十二三万圓……ソレカラモウ一ツハ今政府案デハ  
十五圓トナツテ居ルノヲ一圓引ク、是ガ幾ラニナリマスカ  
○西村眞太郎君(三番) 先ヅ一箇年四百万百ト見レバ、四百万圓デアリマ  
ス

○星亨君(二百四十一番) サウスルト、六百万圓ダケ引ケル譯ニナリマスナ

○西村真太郎君(三番) ソレ等ヲ併セレバ……

○星亨君(二百四十一番) 六百万圓……サウスルト今度ノ増税ハ、政府案デ

ハ皆併テ一千万圓程ニナツテ居リマス、ソレカラ又麥酒カラ引クノデアリマス

ガ、ソレハ先ツ止メテ置イテ御話スルノデスガ、サウスルト六百万圓引クコ

トニナルト、多クハ引クコトニナル、詰リ四百万圓ノ増税ニシカナラヌ、是

ガ増税賛成ト云フコトニナルヤ否ヤト云フコトヲ承ツテ置キタイ

○西村真太郎君(三番) ソレハ宜シウゴザイマセウ

(笑聲起ル)

○議長(片岡健吉君) 是ヨリ大體ニ就キマシテ、反對賛成ノ演説ヲ許シマ

ス——工藤行幹君

(工藤行幹君演壇ニ登ル)

○田中正造君(二百二十九番) 議長々々

○議長(片岡健吉君) 工藤行幹君ニ發言ヲ許シマシタ

○田中正造君(二百二十九番) 御許ニナリマシタカ

○工藤行幹君(六十六番) 私ハ大體此増税案ニ就イテ反對ヲ表スル者デゴ

ザリマス、併シ此税ヲ課サレル其モノ、即チ消費税ノ性質ニ就イテハ、敢テ

是ガ反對ヲスル者デハゴザリマセヌガ、此増税シタル所ノ金ヲ支出スル目的

ニ就イテ、吾々ハ其當ヲ得ナイト思ヒマスカラ、之ニ反對スル者デゴザリマ

ス、故ニ此數種ノ茲ニ増税ノ目的ガゴザリマスルガ、或ハ酒精トカ、又ハ醫

藥用、工業用ト云フヤウナ如キハ、敢テ是ガ増税ノ目的デハナイモノデゴザ

リマスルカラ、是等ノモノニ對シテハ敢テ反對ヲスル者デハゴザリマセヌケ

レドモ、總テ此増税ト云フコトニハ、絶對的ニ反對ヲ表スル者デゴザリマ

ス、何故ニ此増税ノ目的ニ反對スルカト云ヘバ、即チ政府ガ此増税ノ理由

ヲ、酒造税法中改正法律案ノ理由ニ書イテ居ルノデゴザイマス、第一此目的

ニ附イテ反對シナケレバナラヌ、然ルニ論者或ハ此理由書ト云フモノハ、決

シテ議場デ之ヲ議スルモノデハナイカラシテ、此理由ノ如何ニ拘ラズ吾々ハ

増税スルト云フコトガアツタナラバ、是ガ増税ヲスルコトガ宜イト云フコト

ヲ或ル論者ハ言ハレマスケレドモ、是ハ誠ニ私ハ一向解スルコトノ出來ナイ

ノデゴザイマス、何故ナレバ凡ソ國家ニ於テ税ヲ増スト云フモノハ、政府デ

是ダケノ——斯クシナケレバ國家經濟ガ立ヌスト云フ理由ガアツテ、此理由

由ニナツテ居ル、而シテ第三ノ理由ト云フノハ、從來公債ヲ以テ支辨シテ居

タル所ノ事業費ニ使フト云フコトノ、此三ツノモノヲ以テ此増税ノ理由ノ大

ナルモノトシテアルノデゴザイマス、而シテ委員會ニ於テ尙是ニ附イテハ詳

細ノコトヲ、政府カラ示サレタ所ニ依ツテ見ルト、此二十四年度ニ於テハ清

國事件費ノタメニ二千三十万圓ヲ費シ、ソレカラ三十五年度ニ於テハ二十二

万圓——僅ニ二十二万圓ト云フモノハ、是ハ海陸軍將校ノ恩給ナドニ使フ

ト云フモノガ二十二万圓、三十六年度モ同様、三十七年度モ同様、合テ二千

四万圓ト云フモノガ、清國ノ事件費ニ使フト云フ見込デゴザイマス、而シテ

又一方ニハ之ヲ使フニ、當年ハ是ダケノ税ハ取レナイカラ他カラ借リナケレ

バナラナイ、此借入レタ金ノ所ハ三十五年度ニナツテ返済スル、此返済ヲ濟

ンダ所デハ、三十五年度ニ於テ三百萬圓餘、三十六年度ニ於テ二千圓餘、三

十七年度ニ於テ三千万圓餘ト云フモノハ、即チ水雷——軍艦水雷ノ補充ノ基

金ニ繰戻スト云フコトニナツテ居ル、サウスルト三十七年度以後ノ——末ノ

餘リガ一千六百九十萬圓餘、是等以上ノモノヲ仕拂シテモ、一千六百九十萬

圓餘ト云フモノガ、餘ツテ來ルノデゴザイマス、ソコデソレハドウスルカト云

ヘバ、三十八年度ニナツテ、彼ノ明治三十二年ノ法律第七十九號ニ依ル所ノ、

軍艦水雷艇ノ補充基金ヲ増サナケレバナラヌ、是ガ六十五萬圓増サナケレバ

ナラヌカラシテ、是ハ三十八年度カラ之ヲ増スノニ充テ、往クト云フノデゴ

ザイマス、尙ホ其他ノ餘リハ即チ公債募集ヲ減ジテ、其公債ヲ以テ支辨シテ

居ル所ノモノニ支出シテ往クト云フコトガ、大ナル目的デアアルノデゴザイマ

ス、故ニ以上申シタ所ノ目的ニ附イテ、反對ノ理由ヲ茲ニ陳述シタト思フノ

デゴザイマス、抑々北清事件ノ費用ト云フモノハ、是ハ國家ニ新ニ出來タコト

デゴザイマシテ、國威ノ擴張上決シテ忽セニスベカラサルモノデアアル、否ナ

忽セニスベカラザルノミナラズ、大イニ張出シテ掛ラナケレバナラヌコトデ

アル、故ニ吾々ハ清國事件ノ起ルト同時ニ、政府ニ向ツテ此臨時會ヲ召集シ

テ、此費用ヲ供給シナケレバナラナイ、特ニ臨時會ヲ開カレタイト云フコト

ヲ總理大臣ニ言ハントシタ所ガ、總理大臣ハ不都合デ會フコトガ出來ナカッ

タデゴザイマスガ、前ノ大藏大臣ニ向ツテ、ドウシテモ是ダケノ者ヲ國民ガ出

スガ相當デアルカラ、臨時會ヲ開イテ支出シタラ宜カラウト申シタガ、前政

僅ノ間デ、其他ハ今日ハ一師團ノ半分位シカ出テ居ラナイノデゴザイマス、故ニ此五千万圓ノ金ト云フモノモ、未ダ殘テ居ル所ガ全ク二千万圓以上アルノデゴザイマス、然ラバ此清國事件ハ何時マデ掛ルカ知リマセヌガ、政府ノ見ル通政府デハ茲ニ三十四年度ダケノ豫算ヲ出シテ居リマスカラ、政府ノ言フ通三十四年度ダケ此出兵ヲ要スルト云フコトニナリマスレバ、唯今マデノ姿アルナレバ、政府ノ豫算通二千三百万圓ノ金ガアレバ、之ヲ遣ルコトヲ得ルノデゴザイマス、然ラバ此緊急勅令出シテ所ノ五千万圓ノ中、三千万圓ハ既ニ使拂テアルカラシテ、後トノ二千万圓ヲ以テ之ニ充テタナラバ、カツク此費用ヲ償フコトハ、出來ナイト云フコトハナイノデゴザイマス、然ルニ先達テ大藏大臣モ言ハレタノハ、此議會ヲ召集シテ以上ハ、勅令出シテ所ノモノハ茲ニ打切テシマツテ、法律ガ存シテ居ルカラシテ、之ヲ補充シナケレバナラナイ、茲ニ縱令前ニ五千万圓ト云フモノモ五千万圓ヲ使ヒ切ラズニ、他ノ費用ヲ以テ之ニ充テナケレバナラヌト云フノデゴザイマス、併シ吾々ノ考ハ既ニ五千万圓ヲ出サウト云フナラバ、此五千万圓ハ出シテ而シテ此五千万圓ノ後トヲ補充スルト云フコトヲ、此議會デヤラナケレバナラヌト云フコトガ、當然デアラウト思フノデゴザイマス、然ルニ政府ノ解釋ハ茲ニ於テ見込ノ違フノデアアルノハ、是ハ萬ハムヲ得ナイトシタ所ガ、或一方ノ論者ハ、今二千万圓ノ金ノ殘テ居ルノハ、現金デナイ、即チ内國ノ公債デアアル、目下經濟界ハ困難デ、若シ此二千万圓ノ公債ヲ市場ニ賣拂ハントスルトキハ、大ニ公債ノ價格ニ關係スルカラ、容易ニ賣ルコトハ出來ナイ、先達大藏大臣ガ言フニ、私ガ質問シタ所ガ、隨分ニ賣ルニハ困難デアルト云フコトヲ言ハレテアル、堂々タル帝國ニシテ二千万圓ノ公債ヲ賣ルコトノ出來ナイト云フ位ニ、今日ノ民間ノ經濟ガ逼迫シテ居ルト云フコトハ、如何ニモ残念至極デアアルト私ハ思フノデゴザイマス、ツレモ已ムヲ得ナイ、唯内ニ居テ公債ガ賣ルカ賣レナイカ、或ハ此法律ノ解釋上ノタメニ、支那ノ事件ノコトハ一日モ猶豫ガ出來ナイニ付イテ、若シ萬々已ムヲ得ナイト云フ譯ナラバ、吾々ハ此増稅ニ對シテ決シテ惜ム所ハナイノデアリマス、故ニ是ハ特別稅ニシテ即チ帝國黨ノ諸君ガ提出ニナツテ居ルモノ、是ハ全部賛成デアナイガ、ア、云フヤウナ風ニシテ、即チ戰時費ノ一方ニ使フ——支那ノ事件ノ一方ニ使フト云フ費用デアラナラバ、吾々ハ決シテ之ニ反對ヲ唱フル者デアナイ、金ノ多少ニ拘ラズ東洋目下ノ危急ノ場合デアアルカラ、東洋事件ニ使フ特別會計ニシテ、稅ヲ賦課スルナラバ吾々ハ甘シテ贊同ヲ表スル者デアアル、然ニ政府ハサウヂヤナイ、此支那ノ事件ヲ一ノ口實トシテ、永世ノ稅ヲ賦課シテ他ノ公債募集ニ代用スルト云フノハ、抑、謂レノナイコトデ、不當ノ甚シキモノト云フケレバナラヌ、又政府ハ此三基金ヲ今ノ中ニ補充シナケレバナラヌト云フケレドモ、是モ吾々ハ反對デアアル、何ゼナレバ此三基金ハ諸君ノ御存シノ通、是ヨリ生ズル利子ヲ以テ支辨スルモノサヘ補充シテ置ケバ、此元金ヲ補充シナイデモ足リルノデアアル、此元金ヲ使ハナイト云フノハ法律

ノ精神デアアル、況ヤ支那事件ガ落著シナイ今日、其結果是カラ何ノ位掛ルカ分ラナイ場合デアアルカラ、先以テ勅令ヲ以テ定メラレタル處分、是ハ當議會ニ於テ承認セラル、デアラウガ、然ル以上ハ之ヲ十分使ヒ切ツテ、サウシテ支那事件ノ落著シタ後ニ、基金ヲ補充スルガ當然ノコトデアアル、ソレヲ今何ヲ苦シデ更ニ稅ヲ起シテ補充ヲシナケレバナラヌト云フヤウナ、窮窟ノ必要ガ何レニアルカ、私ハドチカラ考ヘテモ、今コンナ場合ニ俄ニ補充ヲシナケレバナラヌト云フ理由ヲ見出スコトハ出來ナイ、其他第三番目ノ公債ヲ以テ支辨スベキモノニ、此稅ヲ以テ代用スルト云フコトニ至ツテハ、實ニ最モ不當ノ甚シキモノト云フハナケレバナラヌノデゴザイマス、何ゼナレバ諸君モ御存シノ通、公債ヲ以テ支辨スベキコトト、稅ヲ以テ支辨スベキコトトハ、自ラ明ナルコトハ、敢テ學者ノ論ヲ俟タヌデハゴザイマセヌガ、極簡短ニ云ツテ見ルト、公債ヲ以テ支辨スベキモノハ、人民ノ餘裕ヲ集メテ國家ノ後來ノ利益ヲ計ルタメニ、茲ニ事業ヲ起シテヤルト云フコトガ公債ノ性質デアアル、稅ト云フモノハ國家ノ必要缺クベカラザル所ノモノニ充ツルノデゴザリマスカラ、公債トハ性質ヲ異ニシ、或ル場合ニ於テハ脅迫的或ハ公債處分ヲシテモ、取ラナケレバナラヌノガ稅ノ性質デアアル、然ルニ此稅ヲ——公債ノ支辨スルモノニ稅ヲ以テ之ニ代ヘルト云フコトハ、抑、何等ノ見解デゴザイマスカ、私ガ不當ト云フコトハ決シテ無理ノナイコト、思ヒマス、或ハ論者ガ言フニハ當時ドウシテモ日本デ公債ガ募レナクナツテ、若シ是ヲ公債ガ募レヌト云フトキニハ、今掛ツテ居ル彼ノ東海道ノ鐵道線路、其他必要ノ事業ヲ中止シナケレバナラヌ、之ヲ中止スレバ國家ハ大變ノ損害ヲ受ケルヂヤナイカ、故ニ稅ヲ以テ支辨シナケレバナラヌト論ズル論者モゴザイマスガ、若シ果シテサウデアラナラバ、是マデノ政府ノ公債政略ガ、マルテ破レテシマツタモノト云フハナケレバナラヌ、嘗テ大藏大臣ハ某ノ年ニハ何程ノ公債ヲ募リ、某ノ年ニハ何程ノ公債ヲ募ルト云フコトヲ言ハレテ、現ニ吾々ハ其事ヲ知ラヌデアナイ、然ルニ公債ニ應ズル者ガナイカラシテ、大藏省ハ唯日本銀行ニ依頼シテ、一時ノ綱繩ヲ試ミテ居ルト云フコトハ、嘆シイ話デハゴザイマセヌカ、是デハ實ニ是マデノ公債政略ガ、破レタト云フヨリ外ナイノデアリマス、此破レタノハ誰ノ罪デアアルカ、即チ政府ガ從來ノ財政計畫ヲ誤ツタト云フコトヲ憚ラヌ者デアリマス、此國家ノ當局者ガ此財政ヲ誤ツタト云ウテ、此儘ニシテ置クコトハ出來ナイ、吾々ガ之ヲ救助スル策ヲ執ルハ當然ノコトデアアル、果シテ公債政略ガ破レタトスルナラバ、斯ウ云フ曖昧模稜ノコトデナク、是カラ公債ヲ募ル額ガドレダケアル、事業ノ止メラレナイモノガ是ダケアル、ソレデアアルカラ公債ガ募レナイト云フコトデアレバ、稅ヲ以テ斯様々々ニ支辨シテ往カナケレバナラヌト云フ、茲ニ豫算ヲ明ニ示シテヤウナラバ、縱令從來當局者ノ誤ト雖モ、國家ガ其儘ニ捨置クコトハ出來ナイカラ、吾々ハ贊同スルコトヲ惜マヌガ、然ルニ政府ハツレヲ一向示サズ、曖昧模稜ノ間ニ清國事件ニ人心ノ向ヒテ居ルノヲ機會トシテ、暗ニ此増稅ヲ決行シテ、ツレ

ヲ以テ公債ノ支辨ニ應ゼントスルハ、曠著モ亦甚シト言ハナケレバナラヌ、且ツ適日委員會ニ於テ大藏大臣ノ答ニ諸君モ御存ジテゴザイマセウ、速記録ニ明デアアルガ、之ヲ増シテ置イテ或ハ先刻私ノ言ウタ順序ニ據ラズシテ、或ハ公債ニ代用シ、或ハ稅種ヲ改良シテ惡稅ヲ止メテ、消費稅ニ據ルト云フコトヲスルガ、其邊ハ未ダ未定デアアル、何レテモ稅ヲ取テ置イテ、然ル後ニ此事ヲ緩急時機ニ應ジテ、此議會ニ諮ツテ支出スルカラ、敢テ茲ニ書イタモノヲ吾々ガ固執スル者デナイト云フ御答ガアルノデゴザイマセウガ、茲ニ於テ吾吾ハ益々驚クノデゴザイマセウ、諸君凡ソ稅ハ必要ニ依ツテ取ルベキモノデアアテ、明ニ國家ニ對シテ無クチャナラヌモノデアアルカラ、稅ヲ取ルモノニ對シテ先ヅ以テ政府ガ澤山ニ稅ヲ取テ置イテ、ソレカラ時機ヲ見テヤルト云フコトハ、抑、立憲國ノ財政ノ定理トシテアルベカラザルコトデアラウト思フ、成ル程議會ノナイ政府當局者ノ專制ノトキデアッタナラバ、宜シウゴザイマセウ、澤山ノ稅ヲ取テ置イテ、必ズ今年是ダケヲ使ハナケレバナラヌト云フコトデナク、餘裕ヲ取テ置イテ、ソレカラ拂ツテ置クト云フハ、當局者トシテ大藏大臣ニ取テハ此上モナイ都合ガアラウガ、右ノ如キ昔風ノ財政ガイケヌカラ、國家ノ豫算ヲ立テ、歲計ヲ定メテ、以テ此議會ノ協贊ヲ得ルデハゴザイマセウガ、然ルニ斯ノ如キ曖昧ナル辭ノ裏ニ增稅ヲシテ、澤山ノ稅ヲ取テ置クト云フコトハ、如何ニモ不當ナコトデアアル、ソレトモ政府ノ當局者ニツシナラバ澤山ノ金ヲ預ケテ置イテ、果シテ濫費モナイ、必ズ見込通ニ往クモノデアアルカト云フナラバ、マダシモノコトデアゴザイマセウガ、私ハ現政府或ハ現大藏大臣ノ行爲ニ對シテ、甚ダ怪ム者デアゴザイマセウ、何故ナレバ私ハ敢テ將來ニ就イテ怪ムト云フコトハゴザイマセウケレドモ、誠ニ私ハ愚直ナ者デアゴザイマセウカラ、人ヲ見ルニハ既往ノ行爲ニ就イテ將來ヲ怪ム者デアゴザイマセウ、先ヅ既往ノ行爲ヲ一ツ言テ見マセウ、唯今ノ大藏大臣即チ明治二十八年ノ頃ニ於テ、此十年計畫ト云フモノヲ示シテ、サウシテ此議會ノ協贊ヲ得タモノデアアル、此十年計畫ニ對シテハ、當時吾々ハ餘リ一時ニ膨大ニ過ルト云フコトノ杞憂ヲ抱イタ者デアリマセウガ、遂ニ其案ガ成立シタカラシテ、是モ已ムヲ得ナイ、已ムヲ得ナイガ已ムヲ得ナイデヤル以上ハ、ドウカ此十年計畫ヲキチリ其通往カナクテモ、成ルタケニ是近寄ルダケノ政略ヲ執ツタナラバ、吾々ハ甚ダ感服スルノデアゴザイマセウケレドモ、諸君モ御存ジノ通如何デアゴザイマセウ、十年計畫ニ據リマセウト、此三十四年度ト云フモノハ、十年計畫ト此當年ノ豫算ト比較シテ見レバ、經常ニ於テ六千二百二十萬圓程増シテ居ルノデアゴザイマセウ、臨時費ニ於テ四千五百萬圓、併テ一億千萬圓餘増加シテ居ルノデアゴザイマセウ、諸君如何ニモ怪シカラヌコトデアゴザイマセウカ、豫算テ十年ノ先ヲ見越スコトデアゴザイマセウカラシテ、多少ノ異動アルコトハ免レナイデアゴザイマセウケレドモ、斯ノ如キ相違ノアルト云フコトハ、實ニ十年計畫ノ盲目減法ナリト云フコトヲ言テ憚ラヌノデアゴザイマセウ、斯ウ云フ次第デアリマセウカラシテ、斯ウ云フ人ニ對シテ、

先ヅ以テ費途ノ極ラナイ金ハ澤山預ケテ置イテ、後トカラ惡稅ヲ止メルノ、或ハ今ノ公債ニ替ヘルト云フコトヲ言ハレテ見タ所ガ、一向吾々ハ感服スルコトガ出來ナイノデアゴザイマセウ、試ニ言テ見タナラバ、前々ノ大藏大臣何ト言ツタノデアゴザイマセウ、増稅シタトキニハ、之ヲ以テ國家財政ノ基礎ニ成レリト云フコトヲ、此議場ニ於テ明言セラレタノハ松方大藏大臣デアアル、其他ニモ稅ヲ増ス度毎ニ右様ノ言辭ヲヤツテアルガ、果シテ基礎立ツタモノナラバ、今日何ヲ苦シテ二千幾萬圓ノ增稅ヲスル必要ガゴザイマセウカ、殊ニ吾々ノ從來憂フル所ガ、此明治二十八年ノ計畫ヲ誤リ餘リ急激ナル擴張、行政費ナリ、軍事費ナリ、過大ノ經費ヲシタタメニ、今日ノ苦ミヲ受ケタノデアアル、既ニ諸君ドウシマセウカ、陸ニハ十三師團ノ軍隊アリ、海ニハ二十五萬噸ノ海軍ガアル、而シテ當年ハドウデアゴザイマセウ、僅ニ一師團ノ兵ヲ一年ニ足ラナイ半年動カス中ニ、最早金ニ窮シテ來テ增稅スル、公債ヲ得ルコトガ出來ナイト云フヤウナ悲イ場合ニ陥ルノハ、何ガタメデアゴザイマセウ、畢竟財政ノ基礎ノ紊亂シテ居ルカラ、此ニ至ルノデアアル、斯ノ如クデアアルナラバ、海陸軍ガ觀世物デアナイ、十二師團アラウガ二十萬噸軍艦ガアラウガ、之ヲ動かスコトガ出來ナイデヤゴザイマセウカ、前言ツタ通ニ、僅ニ一箇年動カシテ最早金ノタメニ、イクラ勇悍ナ軍人ガアツテモ、動クコトガ出來ヌト云フヤウナ悲シイ有様ニ陥ツテ居ルデアゴザイマセウカ、斯ウ云フヤウナ次第デアアルモノニ、今無鐵砲ニ何モ見込ナイモノヲ、此稅ヲ課シテ之ヲ當局者ニ委シテ置クト云フコトハ、甚ダ私ハ杞憂ニ堪ヘヌ者デアアル、併シ或ハ此理由書ノ中ノ一ツニ三十七年度ニナルト云フト、例ノ軍艦水雷艇ノ補充ノタメニ、六百五十萬圓ノ金ヲ出サナクチャナラヌ、是ハ尤ナ計畫デアツテ吾々モ我國デハ海軍ヲドウシテモ維持シナケレバナラヌ、二十五萬噸ナリ二十萬噸ナリ、少クモ維持シテ永遠ニ持ツテ往カナケレバナラヌト云フコトハ、十分承知シテ居ル、之ガタメノ費用デアゴザイマセウケレドモ、是ハ出サナクチャナラナイケレドモ、三十七年度カラ出ス費用ヲ今カラ増稅スルノハ、何ノ必要ガゴザイマセウ、三十七年度ニ——三十八年度ニナツテ、其計畫ヲシテ決シテ晚カラヌコトデアゴザイマセウ、ソレヲ三十八年度ニ出ス軍艦水雷艇ノ費用ヲ出スガタメニ、今カラ稅ヲ増ストハ何事デアゴザイマセウ、尤モ稅ハ成ル程今年改良シテモ一時ニ取レナイ、又會計年度ニ跨ツテ取ル故俄ニ取レナイト云フコトモアリマセウケレドモ、或ハ私ハ疑フ、軍艦ナゾハ誰モ反對シナイ、軍艦ヲ維持スルト云フコトハ反對シナイカラ、之ニ辭ヲ藉ツテ故ラニ人民ノ稅ヲ卷上ゲテ置クノヂヤアリハシナイ、其下カラハ種々ナ不生産的ノ費用ニドシトシ使ハレルコトガアリハシナイイカト思フノデ、如何ニモ吾々ハ憂慮ニ堪ヘヌ者デアゴザイマセウ、マダモウ一ツ言テ見ルト公債ノ支辨ニ屬スルモノ、若シ或ハ是ハ諸君ノ中ニ誤テ、此處テ增稅シナケレバ、今公債ヲ以テ支辨シテ居タ事業ガ止ラナクチャナラヌカト云フト、決シテサニアラズ、サニアラズト云フモノハ、政府ノ提出ノ理由書ニ三十八年度ニ至ツテ、始テ公債ノ費用

ニ替ヘルト云フノデゴザイマス、三十八年度マデ斯ノ如ク日本ノ經濟ガ困難シテ、公債ヲ募集スルコトガ出來ナイナラバ、日本ノ前途如何デゴザイマスルカ、私ガ甚ダ杞憂ノ至リニ堪ヘナイト思フノデゴザイマス、決シテ三十八年度ヲ俟タズ今救済ノ策ヲ講ジナケレバナラナイ、是ハ諸君モ御同感デアラウ、又政府ニ於テモ——現政府ニ於テモ既ニ今日ハ財政ノ整理ヲシナクチャナラヌト云ツテ、私ハ當局者カラ聽カヌガ、新聞ノ言フ所デモ、又ハ今財政整理ノ會ヲ設置スルト云フコトニナツテ居ル、是ハ新聞ノ報ズル所デアアルケレドモ、吾々ハ事實デアアラウト思フ、果シテ然ラバ三十八年度前ニ是非トモ此財政ヲ改革シナケレバ、日本ニ大恐慌ガ來ルト思フ、故ニ政府モ民間モ此財政ノ革新ヲ必死ニ希望シテ居ルノデゴザイマス、然ラバ此財政ノ整理ヲ俟ツテ然ル後ニ、愈々往カナケレバ、日本國民トシテ日本ヲ維持スルノハ當然デゴザイマスカラ、多少税ノ増スコトモアラウ、或ハ私ノ考デアハ是マデノ税、此度ノ二千万圓ノ税ヲ減シテモ——取ラナクテモ決シテ此行政ノ整理ヲシメナラバ、コンナニ無用ナ不生産的ノ費用ヲ使ハナイナラバ、是マデノ税ノ中デモ多少餘リガアツテ、此海陸軍人ヲシテ國家事アルノ時ニハ十分、活動スルダケノ餘裕ヲ得セシムルヤウニ致シタイト云フ考デアアルノデゴザイマス、然ルニ此一方ニハ財政整理ト言ヒナガラ、ツレモマダ極マラナイ中ニ、漫然タル理窟ヲ——理由ヲ以テ此二何百万圓ノ増税ヲセントスルコトハ、到底本員等同志ノ贊同ヲ表スルコトハ出來マセヌカラシテ、故ニ吾々同志ト共ニ斷シテ此増稅案ニハ反對ヲ表スル者デゴザイマス、諸君願ハクハ國家現今ノ財政ノ困難ヲ鑑ミテ、冀ハクハ御贊成アラントヲ偏ニ希望致シマスデゴザイマス

○議長(片岡健吉君) 西原清東君

(西原清東君演壇ニ登ル)

○西原清東君(四十番) 諸君、本員ハ委員長ノ報告通ヲ贊成スル者デアリマス、議場ノ大勢ハ演說ニ依ラズシテ明白デアリマセウガ、國民ノ休戚ニ關スル、殊ニ増稅ノ件デアリマスニ依ツテ、吾々ハ慎重ニ之ヲ審議シ、贊成ノ理由ヲ明白ニスベキ責任ガアラウト思ヒマス、殊ニ唯今御演說ニナリマシタ反對論者ノ御論旨ハ免モ角モ、多年ノ政友ト別レテマデモ、忍シテ爲サルト云フノ御熱心ノ上ニ出ダタル御議論デアリマスレバ、慎重ニ討議ヲシテ其可否ヲ論究スルノ至當ナルコトヲ信シマス、本員ガ此總テノ増稅ノ案ヲ贊成シマスル理由ハ、當席ニ於キマシテ主務大臣ノ演說セラレマシタル全體ノ説明ガ、至極今日ノ事情ニ適合シテ居ル、一點ノ批難スベキ疑フベキ點ハナイト信シマス、殊ニ又現時ノ我國ノ財政ノ状態ニ就キマシテハ、委員會ニ於キマシテ主計局長ヨリ詳細ナル説明ガアリマシタ、又此増稅ノ結果ニ依リマスル所ノ目的理由トスル所モ説明ガアリマシタ、其説明ハ速記ニ依リマシテ諸君ノ机上ニ回ツテ居ルコト、信シテ居リマス、殊更ニ反對ノ議論ヲ構ヘント欲シテ議論ヲ挾ミマスルナレバ、種々議論ハ出テ來マセウカナレドモ、公平ニ之

ヲ讀ミ公平ニ判斷ヲ致シマスルナレバ、何人モ此問題ニ對シマシテ贊同スルコトヲ憚ラナイコトデアアラウト考ヘマス、尤モ工藤君ダケノ御議論ハ、所謂本案ヲ贊成スルニ方リマシテ、理由ヲ明ニスベキ所謂他山ノ石ト謂フベキモノデアリマセウ、先ツ其御議論ノ贊同スルニ足ルヤ否ヤニ附キマシテ、舉見ヲ述ベテ見ヤウト思ヒマス、第一俄ニ増稅ニ依ラナクテモ、北清事件ノ費用ハ金ガアル、其一ハ五千万圓ヲ緊急處分ニ依ツテ、憲法七十條ノ明文ニ依テ使用スルコトヲ得ルトアツテ、其金額ハ二千三百萬圓ノ剩餘ガアルノデナイカ、何ゼ之ヲ使ハナイカト云フノガ第一點デアアル、然ルニ憲法ノ明文ニ依リ議會ヲ召集シテ、豫算ノ議定ヲスルコトノ出來ナイ間、緊急ノ處分ヲ爲シタル處置デアリマス、既ニ此議會ヲ開キマシテ來年度ノ豫算ヲ議スルニ當リマシテハ、緊急處分ヲ既ニ五千万圓ト云ウテ處分ヲシタトテ、未ダ使ハザル金額ヲ更ニ使フト云フ所ノ效力ハアリマセヌ、殊ニ又基金法ノ明文ハ嚴然ト存シテ居リマス、即チ基金ハ使用スルコトガ出來ナイ、先ツ以テ基金法ヲ改正スルト云フ事柄ガ、立法事業トシテ成立シタ上ニアラザレバ、殘餘金ヲ使用スル事柄ハ、豫算ノ上ニ計上スルコトハ出來マスマイ、何人モ斯ノ如キ事柄ハ事實行ハレ難キ、無責任ナル言議デアアルト云フコトヲ認ムルニ足ルデゴザイマセウ、第二ハ委員會ニ於カレマシテ、金岡君ヤ高木君等ガ舉ゲラレマシタ所ノ、戰利品——何故戰利品ヲ使ハナイカト云フノ御議論、殊ニ米トカ云フモノハ未ダ北京若クハ天津若クハ通州ニ在リマス、此等ヲ賣ツテ何ゼ使ハナイカ——迂遠極マル御議論ト思ヒマス、北京ナドニ今日ソレヲ賣ル所ノ機關ガアルト思ハレマスカ、其馬蹄銀ノ如キモノハ、成ル程金額ノ上ニハ報告ニナツテ居リマスルケレドモ、行政ノ總テノ機關ニ於テ、或ハ之ヲ運送シ、或ハ之ヲ調査スル所ノ經過ノ中ニ在リマス、未ダ其處分ヲ議定スベキ場合ニ達シテ居テイノデアアル、之ヲ現金ト認メテ使用スル如キコトガ出來マセウカ、全ク事實行ハレ難キ御議論デアリマス、又北清事件ニ對シマシテ列國ハ今協商中デアリマス、此既ニ得テ居ル所ノ戰利品ノ幾許ヲ、之ヲドウスルカト云フコトヲ今日此議席ニ於テ公然決議シテ早ク之ヲドウスルコト云フヤウナ事柄ハ、外交上ノ上ニ於キマシテモ寧ロ不得策ノコトデアアラウト考ヘマス、第三ハ償金ノ支辨ニ屬シテ居リマスル繰越金ガ、是ガ又數千万圓アルノデアアル、何ゼ此繰越金ヲ使用セヌト云フ論點デアアル、此考案ガ若シ地ヲ易ヘテ、主務大臣ガ斯ノ如キ流用支辨ヲ爲ス所ノ案ヲ出シタトキニハ、諸君ノ如キハ奮然起ツテ反對スルナラン、吾々日本ノ國民ハ北清事件ノタメニ金ヲ出スコトハ吝マナイ、既ニ支辨ノ道ノ定ツテ居ル所ノ金ヲ、一時流用支辨スルト云フヤウナ姑息手段ヲ何ゼ取ルカ、是レ財政紊亂ノ基デアアルト云フコトハ、諸君反對スルニ相違ナイ、又吾々財政ヲ監督スベキ責任ノアル者ガ使ハナラヌ明白シテ一時事業ノ後レタガタメニ、繰越トナツテ居ル基金ヲ、他ニ財源ヲ求メズシテ置イテ、ソレヲ直グニ使フナント云フヤウナ、無責任ノ財政ノ手段ヲ政府ニ迫ルガ如キ事柄ハ、責任トシテ出來ナイコトデアリマセウ、斯ノ如ク申

マズレバ、増税ニ依ラナクトモ財源ガアルト云フ事柄ハ、全ク事實ニ適合セザル所ノ空論デアリマス、次ニハ基金ノ填補ハ俄ニ増税シナクトモ宜シイ、追々清國ト交渉ノ上ハ償金ガ取レルデアラウ、六年七年待テ何カアル、基金ノ使ヒ方ハ即チ其明文通デアルカラ、現金ヲ補充セナクトモ宜イト云フノ御議論デアル、是ハ成ル程基金法ノ明文ヲ御覽ニナレバ其通デアル、併ナガラ日本ノ立法部ニ居ル者ガ、此基金法ノ精神ヲ知ラナクテハヤスカリマス、即チ事アルトキニハ所謂憲法七十條ナドニ據ッテ、臨時ノ處分ヲ爲スベキ所ノ見込ニ、政策ニ使フベキモノデアリマス、是ガアツテコソ、萬一事アツタトキニ、或ハ數千萬圓ノ金ヲ増税ニ依ラズ、若クハ國債ニ據ラズシテ、俄ニ處置ガ出來ルデアリマス、日本ノ如キ東洋ノ一孤島テ萬一事ガアツタトキニ、歐羅巴ナドニ人ヲ出シテ公債ヲ募集シヤウト言フテ、容易ニ出來ルモノデハナイ、又議會ヲ召集シテ増税ヲシヤウトシタ所ガ、容易ニ其數千萬圓ノ金ヲ得ラレルモノデハナイ、日清戰役ノトキニ第五師團ヲ急速ニ派遣ヲ致シテ、機宜宜シキヲ得タノハ何ガタメカ、二十二年以來經費節減ヲ致シテ、我國庫ニ三四千萬圓ノ剩餘金ガアツタ、之ニ據ッテコソ誠ニ都合ガ好カッタデアリマス、又昨年ノ北清事件ノトキニ際シテ、誠ニ國庫ニ金ノ乏シイトキニ際シテ、或ハ外國ナドカラ公債ヲ募リ内國債ヲモ募ルト云フ便宜ノナイ場合ニ處分ガ出來タ、今日マデ此列國ト共ニ協同ノ働キヲ爲スコトガ出來タノハ何ガタメカ、所謂基金ノ現金ガアリシガタメデゴザイマス、此必要ハ即チ是カラ將來益ニ必要ヲ感ズルデアル、斯ウ云フ基金法ノ精神ニ依リテ、法律上成立シテ居ル所ノモノヲ、上六年モ七年モ徐ニ後日ニ延バシテ、填補シタラバ宜シイナド、云フヤウナ事柄ハ、全ク基金法ノ精神ニ通ゼザル所ノ御議論デアラウト考ヘマス、又金岡君モ工藤君モ數度言ハレマシタガ、北清事件ノ名義ニ依ッテ増税ヲ致シテ置イテ、後日政府ノ自由自在ニ之ヲ使用セシムルト云フコトハ、憲法政治ノ財政トシテ不都合ナコトデアル、故ニ斯様ナル増税ヲ認メ難イト云フノ御論官デアリマシタ、是ハ丁度増税ノ理由ト云フコト、豫算ノ議定權ト云フコト、ヲ混同シタ御論カト思フ、尤モ此點ニ附キマシテハ、工藤君等ガ其政友諸氏ト御別レナサルニ至ツタ、餘程議論ヲ闘ハサレテ研究モ積ンデ居ルコトデアアラウト思ヒマスガ、私ハ甚ダ合點ガ往カナイデアリマス、如何ニ増税ノ理由ガ種々アリトハ雖モ、此支出ノ上ニ附キマシテ政府ノ自由ヲ得ルノハ、本年ノ豫算ニ舉ゲテアリマス所ノ金額ノミデ、本年ハ誤リ、即チ三十四年度ノ豫算ニ於テ、吾々ガ協賛シタル以內ノ金額ガ自由ガアツテ、ツレ以上ノ金額ハ即チ矢張年々ノ豫算ニ於テ、立法部ノ協賛ヲ經ナケレバナラヌ箇條デアツテ、如何ニ歳入ガ増加スレバトテ、決シテ政府ノ自由自在ニ之ガ使ハレルモノデハナイ、寧ロ斯ノ如キコトヲ論ズルノハ、立法權ノ獨立ヲ、此豫算ノ議定權ナドヲ甚ダ薄弱ナルモノト自ラ見テ、自信力ノ薄キ結果デアラウト思フ、成ル程工藤君ナドノ地位トシテハ、少數者ト云フ今日ノ地位トシテハ、多數ノ者ガ政府ト同論デドント豫算ノ協賛ヲセラ

ル、ト云フト、其少數者ノ地位カラ言ヘバ、如何トモナラヌト云フヤウナ御心配ガアルカモ知レヌケレドモ、是ハ公私ヲ混同シタル議論デ、詰リ豫算ノ議定ハ何時モ憲法上立法部ニ與ヘラレテアルコトデアルカラ、政府ハ自由自在ニ使フト云フノ杞憂ノ論ハ、甚ダ根據ノナイ御議論デアリマス、其次ニハ十年計畫ノ攻撃、公債ガ募集ガ出來ナイナド、云フ事柄ヲ、二十九年ノ議會即チ第九議會ノ主務ノ大臣達ガ、計畫ヲ誤ッタデアルト云フノ攻撃デアツタヤウナ、是ガ或ハ本案ト直接ノ關係ガアラウカアルマイカ、寧ロ關係ガナカラウカト思フガ、アリトスルモ十年計畫ヲ立テタハ、如何ニモ當時ノ政府デアリマスガ、倍其計畫ヲ過大膨脹セシメタルノハ二十年ノ議會デアリマシテ、即チ第十議會デアリ藤君ヤ金岡君等ガ此席デ贊成セラレタ結果デアリマス、即チ是等ノ事柄ハ御同様ニ責任ノアルコトデ、主務ノ大臣バカリ答ムベキコトデハナイ、貴衆兩院ノ立法部マデモ協賛ヲ與ヘテアルコトデアアル、勿論此經濟上ノ種々ノ變化殊ニ支那事件ガ起ルナド、云フコトニ依ッテハ、外國貿易ナドニ種々ノ變化ヲ來シテ、公債募集ナドガ不圓滑デアルト云フヤウナ事柄ハ、種々ノ變化ヨリ來ルモノ、其答ハ必シモ當時ノ主務大臣ニ限ルベキモノデハナイ、又ヨシシバ當時ノ主務大臣ガ誤ガアツタトテ、今ツレヲ答立ラシテ何カスル、今日ノ吾人ノ責任ハ此公債ノ募集モ出來ナイトハ雖モ、必要ナル所ノ交通機關或ハ教育機關、其外國家ノ事業ト云フモノハ一日モ休止スルコトハ出來ナイ、續々進行シナケレバナラヌト云フ場合ニ、適切ナル所ノ財政計畫ヲ立テルハ御同様ノ責任デアリマス、唯死シタ子ノ年ヲ數ヘル如ク、又己ノ責任ヲ人ニ嫁シテ、昔ノコトニ愚痴ヲコボスヤウナ事柄ハ、甚ダ採ラザルコトデアリマス、又追々御論ガ出マセウガ、高木君ハ此公債募集スラモ出來ナイト云フ今日ニ、増税ヲ爲スナラバ一層益々民間ノ經濟ヲ疾苦セシムルデアラウ、故ニ今日ノ時期ニ於テ増税ハ甚ダ危險ナリ不可ナリト云フノ御論ヲ、委員會デア承ツタコトデアリマスガ、此増税ニ依ッテ得ントスル所ノ金ハ、所謂生活社會ノ需要者ノ懷中ヨリ出ス所ノ金デアアル、公債募集ナドノ經濟社會ノ資金ト云フモノトハ、自ラ其種類性質ヲ異ニシテ居ル金高デアツテ、砂糖ノ稅ガ騰ル、酒ノ稅ガ騰レバトテ、金融界ニ益々不圓滑ヲ來スナド、云フ事柄ハ、是モ程度上ノ論デアアルケレドモ高木君ノ御主張ノ如ク、大シタ恐ノアルベキコトデバナイト思フ、詰リ此増税ニ依ッテ取ル所ノ金ノ性質ト、金融界ノ資本トハ別物デアルト云フコトガ分リマシタナラバ、高木君ノ御心配ハ恐ラクハ根據ノナイ御議論デアラウト思フ、其他委員會ニ現レマシタ内藤君ノ御議論、又天野君圓君ナリ、其他ノ諸君、殊ニ帝國黨ノ諸君、三十二三名ノ御連署ニナツテ居リマスル所ノ御議論、是ハ軍事費ト云フモノヲ一般經濟ノ會計法ヨリ引抜イテ、特別會計ニ付シタイト云フノ御議論、其特別會計ノ制度ヲ立テ、而シテ軍事費ト云フモノハ、巨數ニモ割リ、總テ一般ノ直接稅若クハ間接稅ニ割付ケテ、徵收シヤウト云フノ考案、何故ニ軍事費ト云フモノヲ特別會計ニセンナラヌデアリマスカ、軍事費ハ國民一般ニ關スルモノデ

アルカラ、戸數割ニセンナラヌト云フ論ガ立テバ、總テノ平常ノ陸海軍費ハ悉ク皆戸數割ニセンナリマスマイ、又皇室費三百万圓ヲ始トシテ、内務省其他ノ諸官省ノ經費モ皆戸數割ニセンナラヌ、皆特別會計ニセンナラヌト云フ譯デアリマセウ、又性質上一時ノモノデアルト云フノ理由ニ據ルトスレバ、此軍事費ニハ限リマセウ、或ハ博覽會ノ費用デアルトカ、其他種々事業上ノ費用ヲ、悉ク特別會計ニセンナラヌト云フ御議論ニナツテ來ル、委シク申シマセズトモ、去ル十七日東京日々新聞ガ、近來ノ大愚論トシテ社説ニ掲ゲテアリマスカラ、其社説ヲ御覽ノ諸君ハ、本案ニ對シテ價値ノナイト云フコトハ御承知デアラウト思フ、恐ラク皮肉ニ涉ルヤウニゴザイマスガ、帝國黨ノ諸君達ハ大體ハ戰爭ノ費用ナドヲ、増稅トシテ取ルノヲ各ムト云フヤウナコトハ、平生ノ御主張デハナイ、第九議會以來國家ノ進運ニ伴フ所ノ積極ノ計畫ヲ贊同セラレテ、今日マデ至ツテ居ル、吾ノ同志ト俱ニ同一ノ方針ヲ採ラレテ居ル所ノ諸君デアアル、若シモ前内閣諸公ヨリ出サレタ案デアツタナラバ、ドウデアリマセウカ、斯様ナ趣旨デア反對セラレラデアラウカ、詰リ贊成ニ咨カリ、名ヲ特別會計ノ方法ニ藉ツテ、反對ヲシタイト云フノ口實ヲ作ツタモノニ外ナラヌト思ヒマス、此考案ニ附イテ窮追スルノハ却テ御氣ノ毒デアリマス、斯ノ如ク論ジマスレバ反對論ノ總テノ要點ハ、既ニ諸君ノ机上ニ於テ粉塵ニナツテ居ルコトデアラウト考ヘマス、斯ク反對論ガ粉塵ニナツタトシテ見マスレバ、此増稅案ノ委員會ニ於テ修正セラレマシタ通滿場ノ御贊成ニ依ツテ協贊ヲ與ヘラレベキモノト信ジマス

○田口卯吉君(五十九番) チョット質問ガゴザイマス

○田中正造君(二百三十九番) 此問題ハ鄭重ニ御議シニナルコトヲ希望致シマス

○田口卯吉君(五十九番) 唯今西原君ノ御演說中ニ、北清ニ於ケル戰利品ノ賣拂機關ガ備テ居ラヌト云フ御說デアリマシタガ、即チ米ヲ賣ルトカ、銀ヲ賣ルトカト云フコトノ機關ガ備テ居ラヌト云フコトデアリマシタガ、本員ノ親シク見ル所ニ據レバ、北清ニ於テ陸軍省ハ確ニ米ヲ賣ツテ居ルヤウニ思フ、支那人ニ對シテ一石二圓五十錢位ニ賣ツテ居リマスガ、機關ガ備テ居ラヌト云フノハ、ドウ云フデアリマスカ、チョット質問ヲ致シマス

○西原清東君(二十九番) 米穀取引所ノ如ク、千石万石ヲ一時ニ賣ルト云フヤウナ、敏捷ナ手段ヲ採ルコトガ出來ナイト云フ意味デアリマス、左様ナ小賣ヲスルト云フ如キコトヲ以テ、ソレヲ集メテ北清事件ノ費用ニ充ルト云フコトハ、迂遠極マルト云フ意味デ、其他ノ御議論ハ反對論デアリマスカラ、御自由ニ登壇ノ上御發議ニナルコトヲ希望致シマス

○田口卯吉君(五十九番) 賣レルトコトハ御認メデゴザイマスカ

○西原清東君(二十九番) 左様

(高木正年君演壇ニ登ル)

○高木正年君(百六十番) 此問題ハ私共ガ進退ヲ賭シテ、反對ヲ致シタ事柄

デゴザイマスカラ、姑ク同情ヲ寄セラレテ御清聴ヲ願ヒマス、先刻本案ノ反對者ノ一人トシテ、工藤君ガ反對ノ趣旨ヲ辯明セラレマシタガ、私ハ更ニ重複ナル事柄ヲ述ベテ諸君ノ御煩ハシヲ致ス心得デハゴザイマス、工藤君ノハ軍費ヲ出スコトニハ拒マヌガ、増稅案ノ理由書ニ就イテ重ナル不都合ノ點ヲ述ベテ、反對ノ意旨ヲ表セラレタノデゴザイマス、私ノハ矢張反對論ニハ相違ナク、工藤君ノ御論モ矢張承繼イデ居リマスガ、大體ノ上デ本年即チ二十四年ノ歳出ニ、即チ軍費ヲ支辨スルタメニ殊ニ此増稅ヲ爲スノ必要ガナイ、寧ロ此ノ如キ惡結果ヲ來スベキ増稅案ヲ議シテ、經濟界ヲ攪亂スルガ如キハ、本年ノ則チ今日ノ時代、時機ニ於テ慎マネバナラヌ、此案ニハ從ツテ反對ヲ表セネバナラヌト云フノガ、私ノ大體ノ趣旨デアリマス、原案贊成者トシテハ西原君ガ私ヲ御見出シ下スツテ、屢、私ノ名ヲ御呼ビニナリマシタ、誠ニ光榮ノ至ニ存ジマスルガ、是ニ就イテハ私ノ大體ノ旨意ヲ簡明ニ演シ去リマシタナラバ、恐ラク西原君ノ殊ニ御名ヲ呼ンデ爭フ致ス必要モナク、氷解致スデアラウト私ハ考ヘマス、若シ已ムヲ得ザレハ一二ノコトハ、後ニ反對論ニ對スル反對論ヲ辯明致ス積デゴザイマス、一體北清事件ノ軍事ニ關スル費用ヲ、此際私共ガ如何ニモ之ヲ惜ンデ、此案ニ反對スルカト云フガ如ク御聽取ニナルノハ、此案ガ此議場ノ形勢ヲ作ツテ、唯出シテ、無謀ニモ、無慘ニモ、此案ガ此議場ヲ經過セントスルノハ、即チ此誤ヨリ來ツタノデゴザイマス、北清事件ニ附イテ我國民ガ此前途ヲ闇黒ナラシメントスルガ如キ舉動ハ、恐ラクハ日本全國ノ中一人タリトモ、斯様ナ無謀ナ辭ヲ吐ク者ハナイノデゴザイマス、私共ハ愚ナリト雖モ今日ノ時勢ノ上デ、斯ノ如キ議論ヲスル者デゴザイマス、縱令反對ノ政府ナリトモ今日ノ勢ニ附イテハ、若シ戰線ノ區域ヲ變更シ、今後如何ナル場合ニ遭遇シテモ、決シテ此辭ハ變ヘナイノデゴザイマス、當ニ今日ノ時勢ニ於テ、而モ此ノ如キ經濟界ヲ攪亂スベキ増稅案ヲ、議サナケレバナラヌト云フ必要ハナイト云フノデゴザイマス、此案ハ二千四五百萬圓ノ收入ヲ、國庫ニ求ムルト云フ案デアリマス、此二千四五百萬圓ノ金ヲ國庫ニ取ルト云フ大キナ題目ノタメニ、諸君ハ迷ハサレテ居ルノデゴザイマス、諸君、本年ニ於ケル日清軍費ハ如何ニシテ、政府ハ之ヲ處分スルカト云フコトヲ能ク御考ニナリ、委員會ニ於キ、本會ニ於キ、政府委員ノ答辯シタル説明ヲ能ク御記憶ニナリマスルト、左様ナ大層ナ效能ノアル議案デアナイノデゴザイマス、成ル程三十五年以下ニ於テハ、或ハ一年ニ於テ二千何百万圓ノ増收入ヲ得ルカハ知リマセヌガ、三十四年度ニ於テハ僅ニ五百八十万圓、其他ノ金ハ如何シテ政府ハ支辨スルカト云フト、大藏大臣ハ謂ヘラク、日本銀行及其他ノ銀行ヨリ借入レテ、所謂綜合支辨ヲ以テ千七百万圓ノ金ヲ出スノデアルト明言シタノデゴザイマス、サウシマスルト、本年ニ於テハ僅ニ此増稅案ニ於テ五百八十万圓、而モ五百八十万圓ノ金額ヲ集メルタメニ、經濟上ニ惹起ス其響ハ如何アルカ、其響ハ如何ニ現出スルカト云フコトヲ考ヘテ見マスルト、即チ此案ニ向ツテ慎重ナル調査ヲセナケレバナラヌ、此案ニ

向テ綿密ナル研究ヲセナケレバナラヌト云フ、必要ガ起ツテ來ルノデアリマ  
 ス、是ガ即チ私ノ反對論ノ筋途デアアルノデゴザイマス、先ツ第一ニ此案ハ果シ  
 テ政府ガ言フガ如ク、善良ナル目的ヲ達スルヤ否ヤト云フコトヲ、議論ノ順序  
 トシテ研究致シマスレバ、不幸ニモ此案ハ政府ガ言フガ如キ目的ヲ達セザル  
 ノミナラズ、經濟界ノ前途ニ於テ非常ナル恐慌ヲ來スト云フコトハ、大藏大  
 臣モ矢張自白致シテ居ルノデアリマス、少シク議論ガ横途ニ入りマスガ、先  
 刻大藏大臣ハ何ト答辯ヲ致シマシタ、砂糖稅ニ於テハ見越輸入ガ來ル、之ニ  
 附イテハ經濟界ニ非常ナル變動ガ來ルカモ知レヌ、丁度私ガ委員會ニ於テ言  
 ヲコトヲ、大藏大臣ハ今日ノ議席ニ於テ言テ居ルノデス、不思議ナ辯明ト  
 言ハナケレバナラヌ、斯クマデ不親切ナル調査ノ上ニ成立シタ、即チ增稅案  
 ト言ハナケレバナラナイノデアリマス、一體申シマスルト此見越輸入ト云  
 フコトニ政府ガ狼狽シタノハ、政府自身ガ惡ルイノデアリマス、議會ハ何時  
 開カレタカト云フト、昨年ノ十二月二十二日、增稅案ノ出サレタノハ何時  
 カト云フト、一月ノ末デアアル、其間殆ド三十日以上モ政府ハ增稅案ヲ握ッテ  
 居リ、而モツレヲ秘密ニシテ置ケバ、今日ノ如ク見越輸入ナドノ企テハナイ  
 ノデアアルガ、此ノ如キ大切ナ議案ニ對シテ秘密ヲ守ルコトノ責任モナク、漫  
 リニ吹聴シ、十月一日ト云フコトヲ示シタカラ、ドント見越輸入ガヤツテ  
 キタノデアリマス、政府ノ不親切ナル、無責任ナル、斯ノ如キモノデアリマ  
 ス、先刻ノ三月ノ中ニハ此實施期ヲ定ムルカ知ラント言ヘマスガ、何ノ必要  
 ガアツテ議スルノデアアルカ、二十一年ノ酒造稅ノ增稅案ハ十二月二十日カ十  
 二月十五六日頃、衆議院ノ委員會デ私モ委員ノ一人デアリマシタガ、貴族院  
 ニ往ッテ十二月二十日カ、何日カ、二十五六日頃法律ガ出テ、翌年ノ一月一  
 日ニ施行ニナツタ、此ノ如キ見越造、見越輸入ノアルモノハ、成ルベク政府  
 ガ秘密ニシテ出シタナラバ、トツト、ヤラナケレバナラヌ、政府ハ世ノ中ノ  
 反對ヲ恐レテ或ハ解散ヲ明言シタリ、或ハ一方ニ增稅案ヲ出シサウニシテ出  
 サナク、出シサウデナクシテ確ニ出スト云フヤウニシタカラ、即チ今日見越  
 輸入ト云フヤウナ弊害ガ起ツテ來タノデアアル、大藏大臣ガ心機ヲ一轉セラレ  
 タノハ、御自分ノ怠リカラスノ如キ惡現象ヲ來シタノデアリマス、元ニ戻  
 テ酒造稅ハ果シテ目的ヲ達スルカト云フコトヲ、極簡短ニ申シマス、現在今  
 日ハ餘程經濟界不振ノタメニ、需用供給ノ間ニ差ヲ生シテ殘石ガ澤山アリ、而  
 モ二十一年デスラモ既ニ僅カ二十日カ十五日ノ間ノコトデモ、見越造ヲスル  
 ト云フノデ、政府ノ見込ヨリハ減石ヲシテ居リマスカラ、此不振ノ世ノ中ニ  
 而モ增稅ヲ爲シ、而モ殘石數ガアルト云フノデアアルカラ、酒造稅モ恐ラク其  
 目的ヲ達セヌノデス、麥酒稅ハドウカト云フト、此麥酒ハ實ニ私共我政府ノ  
 方針ニ就イテ落膽シナケレバナラヌ、特リ政府ノヤリ方ノ上ニ於テ落膽スル  
 バカリデナク、我國ノ國威ノ上ニ於テ甚ダ慨嘆シナケレバナラヌ、政府ハ謂  
 ヘラク日清戰爭ノ軍費ヲ出スガタメニ、此增稅案ヲ出スト云フガ如キ辭ノ下  
 ニ、僅カ日本全國ヲ擧ゲテ十一万石ノ、政府ガ言フガ如ク極度ノ稅ヲ取ッテ

モ七十七万圓、斯ル小サイモノマデ稅ヲ取ラナケレバ、我國ノ支那ニ於ケル  
 戰爭ガ出來ナイト云フコトヲ、明言スルト同シコトデゴザイマス、是ガ私共  
 ガ麥酒稅ニ向テ政府ハ何故ニ斯ル小刀細工ヲシテ、少シノ稅モ取ラナケレ  
 バナラヌト明言スルノハ、寧ロ政府自身ガ我國ノ經濟界ハ、如何ニモ危  
 險ニ瀕シタリト明言スルニ外ナラヌト思フ、其他現在ノ販賣ノ上デモ、連  
 モ七圓ノ稅ハ取レナイカラ、恐ラクハ今年ハ稅ハ取レテモ、將來ニ於ケル麥  
 酒ノ發達ト云フコトハ、確ニ此政府ノ仕方ノ上ニ於テ故障ヲ生ズルト云フコ  
 トハ、實際デゴザイマス、砂糖稅ニ至ッテハ實ニ驚カザルヲ得ヌノデス、先刻  
 申シマシタガ、砂糖ノ如キハ實際ニ申シマシタナラバ、本年ハ政府ノ收入  
 ト云フモノハ、政府ノ見込四分ノ一モ恐ラクナイデアアラウト思フ、何ゼナ  
 ラバ見越輸入ヲ爲シテ本年一杯ノ需要ヲ既ニ我國ニ輸入シタリト云フトキ  
 ニ、更ニ輸入ノ來ルコトハナイノデアリマス、砂糖ハ諸君ガ知ラル、ガ  
 如ク、日本ノ内地製糖會社ノ製糖業ヲ爲ス者ガ幾ツアルト云フト、東京  
 ト大阪ノ二ツシカナイノデス、其他ハ殘ラズ輸入品デアアルノデス、デ一方ニ  
 於テ見越輸入ガ來ルタメニ、内地ノ製糖會社ガ齟齬シテ高イ石炭ヲ焚イテ製  
 造シテモ、出來ヌ時分ニハ矢張之ニ稅ガ掛ッテ來ル、一方ニ於テハ稅ノ掛ラ  
 ヌモノガ、ダントヤツテ來ル、内地ノ製糖會社ハ暫ク業ヲ休メバナラヌ、折  
 角發達シタ所ノ製糖業ハ潰レテシマフト同時ニ、果シテ此製糖會社ガ既ニ  
 危險ヲ將來ニ夢ミルト云フコトハ、之ハ私ノ推測デアナイ、大藏大臣ハ先刻  
 モ其事ヲ申シテ居ルノデス、其實實デアツタナラバ、ドウシテ本年ニ砂糖稅  
 ノ收入ガアルノデゴザイマセウ、見越輸入ト云フノハ稅ノ取ラレヌ前ニ這入  
 テ來ル、既ニ取ラレヌ前ニ這入ツタ砂糖ガアツタナラバ、稅ノ取レル時分ニ  
 這入ッテ來ル砂糖ノナイト云フコトハ、即チ明ナ反證デゴザイマス、斯様  
 ニ考ヘテ來マスルト、酒ト云ヒ、砂糖ト云ヒ、而モ麥酒ト云ヒ、總テノモ  
 ノガ、事業ヲ阻絶スルカ、目的ヲ達シナイカ、經濟界ヲ紊亂スルカ、此三ツ  
 ノ外ヨリ出デナイノデアリマス、僅カ求ムル所ハ五百八十万圓、是モ政府  
 ノ豫算デアアルガ、私ノ唯今ノ議論ニスルト、ツレモ餘程アブナイノデア  
 ル、モツット少イノデアアルガ、假ニ五百萬圓ヲ取ルタメニ、經濟界ニハドウ  
 云フ響ヲ生ズルカト云フト、既ニ大藏大臣モ申シタノデアリマス、詳シク  
 ハ申サナイガ、見越輸入ノタメニ、言ハハ日本銀行ニ備ヘツ、アル所ノ正貨  
 準備ノ減ルト云フコトヲ、暗々裏ニ明言セラレタノデアリマス、噂ニ聞  
 ケバ今日新聞紙等ノ言フ所ヲ聞ケバ、三千万圓或ハ二千五百萬圓ト申スガ、假  
 ニ千五百萬圓トシテモ、今日日本銀行ニアル六千七百萬圓ノ内デ、千五百萬  
 圓ヲ減ズレバ則チ五千万圓ノ正貨準備ト爲ルノデアリマス、正貨準備ノ  
 減ズルハ正貨ノ缺乏——減ズルノデアアル、從ッテ民間ノ金融ガ是ダケ引キ締  
 マルト云フコトハ、言フマデモナイコトデアアル、今日ノ若シ經濟界ヲシテ、三  
 厘利息ヲ上ゲシメタナラバ、諸君我國ノ實業ハドウナルノデアリマス、三  
 厘此間ニ引上ゲタナラバドウデアリマス、今日一厘引上ゲルハ彼ノ堅固

ナル經濟界ノ時代ニ於テ、三厘引上ゲルヨリモ、モソツト一層ノ苦痛ヲ感ズルノデゴザイマスル、一方ニ於テハ政府ハ一千六七百萬圓ノ金ヲ、日本銀行其他ヨリ借リルトカ云フノデゴザイマセカ、是モ第一政府ガ日本銀行其他ニ在ル所ノ通貨ヲ引揚ゲテ、固定ニスルト云フコトデゴザイマス、是ダケデモ隨分我國ノ經濟界ニハ響ク生ズル上ニ、所謂砂糖ノ見越輸入ノタメニ、經濟上ハ尙ホ一層ナル攪亂ヲ思ヒマシタナラバ、求ムル所ハ僅ニ五百八十萬圓ノ増稅ノタメニ、我國ノ經濟界ニ受ケル所ノ反響ト云ヒ、受クル所ノ困難、受クル所ノ災害ト云フモノハ、實ニ恐ロシキモノデアアル、實ニ身ノ毛モ彌立ツ程ノモノデゴザイマスル、私共徒ニ進退ヲ賭シテ争フノデハナイ、斯ノ如キ將來ノ大危害、大變調ヲ來スト云フコトヲ思フガタメニ、殊ニ此案ニ反對セネバナラヌト云フ決心ヲ致シタノデゴザイマスル、斯様ニ申シマスルト、ソレデハ原案——増稅案ニ反對スル者ガ如何ニシテ軍費ヲ出ス、此増稅案ニ依ッテ求ムル所ハ五百八十萬圓——五百八十萬圓ノ若シ金ガ今日欲シイト云フナラバ、此經濟界ヲ斯クマデ攪亂シ、經濟界ニ斯クマデ將來ノ危害ヲ醸サントスルモノヲ採ルヨリハ、彼ノ償金ノ内費途ノ定マラヌモノガ、既ニ五百萬圓モアルノデアリマスル、西原君ハ戰利品ハ未ダ今日ハ當テニナラヌト云フガ、縱令當テニセヌデモ既ニ他ニマダ償金ノ内費、繰替ヘテ使フモノガ澤山アルカラ、強テ此事ニ就イテ辯明ハ致サヌガ、西原君ノ御説ハ餘程唯今御述ベニナリマシタ——私ノ償金ヲ戰利品ヲ用ヒルト云フコトニ就イテノ駁撃ニハ、力ノ入ラヌノデゴザイマスル、恐ラク委員會デ質問ニナツタ諸君ノ辯論ヲ御記憶ガナイノデハナイカ、或ハ御忘ニナツタノデハナイカト私ハ思ヒマス、米ノ如キハ既ニ賣ツタ其報告ガ、百六十萬圓モアルト政府ハ申シテ居ルノデゴザイマス、是カラ先キノデハナイノデアリマスル、銀塊ノ如キモ所謂馬蹄銀ノ如キモ、先ニハ三百二十萬デアアルト政府ハ申シタガ、後ニ取消シテ百九十二萬デアアル、是ハ極確デゴザイマスル、二ツヲ合セテ見ルト四百萬圓位ハ、確ニモウ日本ノ物ニナツテ使ツテモ宜シイ、併シ之ニ就イテ西原君ハマダ戰利品ノ處分ハ濟マナイノデアアル、是ハ取リモ直サズ後ニ償金ヲ取ル時分ニ、差引クト云フ御論デアラウガ、若シ償金ヲ取ルト云フ時代ガ來レバ、此増稅案ノ必要ハナイノデアリマス、即チ償金ノ取レル時ノ前ニ於テ必要デアアルカラ、戰利品ヲ使ツテモ差引勘定ヲスルツレバ、既ニ日本ノモノト云フコトハ確定シテ居ル、使ツテモ決シテ之ガタメニ後ニ累ハ來ナイコトハ明デアリマスル、斯様ニ考ヘテ見マスルト、此増稅案ト云フモノハ求ムル所、得ル所ノ利益ヨリモ、國家ガ損スル所ノモノハ非常ニ大ナルモノデアアル、ソレ故ニ今日ニ於テハ、若シ日本銀行其他ヨリ政府ガ、借リズシテ支出スル所ニ不足ガアツテ、即チ増稅案ヲ出サネバナラヌト云フコトデアレバ、ソレハ償金ノ内ヨリ使フモ差支ナイ、之ニ附イテ西原君ハ斯様ニ辯明ヲサレマシタ、成ル程六千何百萬圓ノ内三千万圓バカリハ繰越シテアルカラ、此繰越シハ金ノ餘ツテ居ルノデナイ、是ハ當然ノ話デアアル、政府ハ一方ニハ金ガ

ナイ、金ガナイト云フガ金ヲ集メルダケ之ヲ使フ手腕ガナイカラ、何時デモ斯様ニ殘ツテ來ルノデアアル、其中ニハ工藤君ノ言ハレルガ如ク、公債支辨ト云フ方ニドント政府ニ在ル所ノ償金ナリ、郵便貯金ナリヲ利用シテ、而シテ使ツテ既ニソレガ公債ニナツテシマツテ、今日ハ困ツテ仕事ガ出來ナクテ殘タノモアリマスル、是ハ少シ政府ノヤリ方ガ條理ニ外レテ居テ、公債支辨ハ將來募レヌトキニハ其事業ヲ止メルト云フ性質ヲ有ツテ居ル、募レナイトキニハヤレナイ、斯ウ云フ理論ガ生ジテ來ルノデアリマスル、免ニモ角ニモ今日ノ政府ニハ現今ニ於テ六千何百萬ノ内ニ二千八百萬圓、是ハ我國ニ現在シテ居ル、海外ニ在テハ英貨デ千五百萬圓程ノ現金ガ矢張存在シテ居ル、此内デ三十四年度ニ仕拂ヲ爲シテモ、マダ確ニ二千万圓ヤソコラノ金ハ殘ルノデアリマスルカラ、強テ此増稅案ヲ議サズトモ此増稅案ニ依ッテ經濟界ヲ攪亂スル位ナ、極惡結果ノ手段ヲ執ラズトモ、決シテ日清戰役ニ對スル軍費ノ支出ハ、少ノ故障モナク出來ルノデアアルト云フコトヲ、諸君ニ於テ御安心ヲ願ヒタイト思フノデアリマスル、先刻大藏大臣ハ砂糖稅ニ附イテ政府ノ方針ヲ變タコトヲ御辯明ニナリマシタガ、私共ハ此壇ニ登ッテ御話ヲスルヨリモ、少シマダ便利ナ時間ヲ省イテ、此案ノ終ヲ告ゲルコトヲ考ヘテ居ルノデアリマスル、伊藤内閣ハ流石ニ伊藤内閣デアツテ、便利ナル即チ人才ヲ持ッテ居ルノデアリマスル、大藏大臣ハ心機一轉ト云フコトヲ何時モ言ハレテ、今日モ即チ心機一轉ノ御演説ヲ聽キマシタガ、既ニ此増稅案ノ結果ガ餘リ面白クナイト云フコトヲ御自白ニナツタ以上ハデス、願ハクバ心機ヲ再轉セラレテ、此増稅案ヲ御撤回ニナル方ガ餘程便利デアルト、私ハ御注意ヲ致スノデゴザイマス、以上述べマシタ理由ニ依ッテ、私ハソレハ決シテ此日清戰費ヲ惜ム者デナク、唯此増稅案ニ依ッテ將來ノ經濟界ヲ思フガタメニ、是ニ於テ此増稅案ニ已ムナク反對ヲセネバナラヌト云フ、私ガ此反對論ヲ主張スル根本ノ議論デゴザイマス

○恆松隆慶君(百二十六番) 唯今高木君ガ反對演説ヲヤラレテ、此次ハ贊成演説ヲ定メテ石黒君ガ登壇シテヤラレルデゴザイマセウガ、先ヅ大體此砂糖トカ、酒トカ、甘イ辛イノ案ハ大抵定ツテ居ル、此處アタリデヨシテ宜カラウ討論終結トシテ……

(「贊成々々」ノ聲起ル)

○議長(片岡健吉君) 討論終結ニ贊成ガアリマスカラ採決致シマス、討論終結ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(片岡健吉君) 多數ト認メマス、討論ハ終結セラレマシタ

○恆松隆慶君(百二十六番) ドウカハ一括ニシテ、各種ノ案ハ孰モ直チニ讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

(「贊成々々」ノ聲起ル)

○議長(片岡健吉君) 贊成ガアリマシテモ、未ダ二讀會ヲ開クヤ否ヤノ決議

ハアリマセヌ、之ヲ採決スルニハ斯ウ云フヤウニ採決シヤウト思ヒマス、唯今議題ニナツテ居ルハツノ案ヲ一括シテ、第二讀會ヲ開クヤ否ヤノ採決ヲシヤウト思ヒマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ又〔異議アリ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 異議ガアリマスル以上ハ、之ヲ起立ニ諮ヒマス、之ヲ一括シテ第二讀會ヲ開クコトニ、同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(片岡健吉君) 多數ト認メマス、直チニ第二讀會ヲ開カウト云フ動議ガ此前ニ出マシタデアリマスガ、是ニ附イテ異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 直チニ第二讀會ヲ開クト云フコトニ御異議アリマセヌカラ、是ヨリ第二讀會ヲ開クニハ、一案宛第二讀會ヲ開クコトニ致シマス、其順序ハ議事日程ノ順序ニ據リマス、ツレデハ始ノ議事日程ノ第四ニ出テ居リマスル酒造稅法中改正法律案、此第二讀會ヲ開キマス、是ハ全部ヲ議題ニ供シマス

酒造稅法中改正法律案

第二讀會

○議長(片岡健吉君) 是ニハ少數ノ意見ガ出テ居リマスルガ、定規ノ贊成ガアリマスルカ

〔贊成々々〕ノ聲起ル

○議長(片岡健吉君) 起立デ贊成ヲ御唱ヘ下サイ、チヨット分マセヌカラ定規ノ贊成アリト認メマス、第一條ハ原案ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ原案ノ通決シマス、次ハ第四條第四ハ少數ノ意見ガアリマスルカラ、少數意見カラ採決致シマス——少數ノ意見ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(片岡健吉君) 少數ト認メマス、次ハ委員會ノ修正說ニ附イテ採決致シマス、委員會ノ修正說ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ委員會ノ修正說ニ決シマス、第五條第七條ハ修正ガアリマセヌ、是ハ原案通御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ原案ノ通決シマス、第八條ニ就イテハ少數ノ意見ガアリマス、先キニ少數ノ意見カラ採決致シマス、少數者ノ意見ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(片岡健吉君) 少數ト認メマス、第十九條ヨリ以下委員會ノ報告通御

異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通決シマス

○恆松隆慶君(百三十六番) 直チニ是ハ確定ト云フコトニハ如何デゴザイマス、直チニ第三讀會ヲ開イテ確定ニナランコトヲ請ヒマス

〔贊成々々〕ノ聲起ル

○議長(片岡健吉君) 恆松隆慶君ヨリ直チニ第三讀會ヲ開キタイト云フ動議ガ出マシタガ、御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ直チニ第三讀會ヲ開クコトニ致シマス

酒造稅法中改正法律案

第三讀會

○議長(片岡健吉君) 第二讀會ノ決議通御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通確定致シマス、次ハ酒精及酒精含有飲料稅法案ノ第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ議題ニ供シマス

酒精及酒精含有飲料稅法案

第二讀會

○議長(片岡健吉君) 是ニハ少數者意見ガアリマセヌ、委員會ノ決議通御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ委員會ノ決議通決シマス

○恆松隆慶君(百三十六番) 此案モ直チニ第三讀會ヲ開イテ確定セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成々々〕ノ聲起ル

○議長(片岡健吉君) 此案モ直チニ第三讀會ヲ開クト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ直チニ第三讀會ヲ開クコトニ致シマス

酒精及酒精含有飲料稅法案

第三讀會

○議長(片岡健吉君) 本案ニ附イテハ第二讀會ノ決議通、御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ確定ト認メマス、次ハ沖繩縣酒類出港稅則中改正法律案 全部ヲ議題ニ供シマス

沖繩縣酒類出港稅則中改正法律案

第二讀會

○議長(片岡健吉君) 是ハ委員長ノ報告通御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ  
 ○議長(片岡健吉君) 御異議ナケレバ其通決シマス  
 ○恆松隆慶君(百二十六番) 此案モ直チニ三讀會ヲ開キ確定セラレンコトヲ望ミマス

〔賛成々々〕ノ聲起ル  
 ○議長(片岡健吉君) 直チニ三讀會ヲ開クコトニ御異議アリマセヌカ  
 〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ  
 ○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ直チニ三讀會ヲ開クコトニ致シマス

沖繩縣酒類出港稅則中改正法律案 第二讀會  
 ○議長(片岡健吉君) 本案モ第二讀會ヲ決シマシタ通御異議アリマセヌカ  
 〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ  
 ○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ確定ト認メマス、次ハ酒精、酒類其他酒精ヲ含有スル飲料輸出下戻金ニ關スル法律案、全部ヲ議題ニ供シマス

酒精、酒類其他酒精ヲ含有スル飲料輸出下戻金ニ關スル法律案 第二讀會  
 ○議長(片岡健吉君) 是ハ少數者ノ意見ガアリマセヌカ、委員會ノ修正通御異議アリマセヌカ  
 〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ  
 ○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ委員會ノ修正通決シマス  
 ○星亨君(二百四十一番) 此何ハ少シ後トヘ御延シニナラヌト、麥酒ニ七圓ト云フノゴザイマシガ、ソレニ依ッテ違ヒハシナイカト思ヒマス、麥酒ノ方ヲ先ニ決議ニナルヤウニ願ヒタイ

〔モウ極ッテシマッタ〕ト呼フ者アリ  
 ○星亨君(二百四十一番) イヤ極ラヌ  
 ○議長(片岡健吉君) 麥酒ノ……  
 ○星亨君(二百四十一番) 麥酒ノ方ハ極リヤウニ依ッテ戻稅ニ於テ違フコトガアル、麥酒ガ原案ノ通ナレバ戻稅ハ七圓ヲ宜シイノデ、ソレデアルカラ麥酒ノ方ヲ先ニ決ヲ採ルヤウニシタイ

〔杞憂ダ〕ト呼フ者アリ  
 ○議長(片岡健吉君) ソレデハ此方ハ三讀會ヲ延バシマセウ  
 ○田口卯吉君(五十九番) 唯今ノハ戻稅法案デハゴザリマシマス  
 ○議長(片岡健吉君) 唯今ノハ是モ下戻稅法案デハ三讀會ヲ延シマス——次ハ醫藥用、工業用酒精戻稅法案、全部ヲ議題ニ供シマス

醫藥用、工業用酒精戻稅法案 第二讀會  
 ○議長(片岡健吉君) 是ハ修正モ何モアリマセヌカ、原案通御異議ハアリマセヌカ  
 〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通決シマス  
 ○恆松隆慶君(百二十六番) 是モ直ニ三讀會ヲ開イテ……  
 ○議長(片岡健吉君) 直チニ三讀會ヲ開クコトニ御異議アリマセヌカ  
 〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ  
 ○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ直チニ三讀會ヲ開クコトニ致シマス

醫藥用、工業用酒精戻稅法案 第三讀會  
 ○議長(片岡健吉君) 原案ノ通御異議アリマセヌカ  
 〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ  
 ○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ確定致シマス、次ハ麥酒稅法案第二讀會、全部ヲ議題ニ供シマス

麥酒稅法案 第二讀會  
 ○委員長ノ報告通りト呼フ者アリ  
 ○議長(片岡健吉君) 少數意見ガ三條ニアリマス、是ハ原案ノ七圓トアルノヲ五圓ニ修正ヲスルト云フ少數意見デアリマス、ソレニ成規ノ賛成ガアリマスカ  
 〔賛成々々〕ト呼フ者アリ  
 ○議長(片岡健吉君) 賛成者ハ起立シテ賛成ヲ表セラレンコトヲ望ミマス成規ノ賛成ガアルト認メマス、ソレデハ此三條ノ少數意見ニ附キマシテ採決ヲ致シマス、少數者ノ意見ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數  
 ○議長(片岡健吉君) 少數ト認メマス、委員長報告通御異議アリマセヌカ  
 〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ  
 ○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ委員會長ノ報告通決シマス  
 ○恆松隆慶君(百二十六番) トウカ直チニ三讀會ヲ開イテ……  
 ○議長(片岡健吉君) 直チニ三讀會ヲ開クコトニ御異議アリマセヌカ  
 〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ  
 ○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ直チニ三讀會ヲ開キマス

麥酒稅法案 第三讀會  
 ○議長(片岡健吉君) 第二讀會ニ決シタ通御異議アリマセヌカ  
 〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ  
 ○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ本案ハ確定シタモノト認メマス  
 ○恆松隆慶君(百二十六番) 此場合星君ノ言ハレマシタ、下戻云々ト云フヤツヲ三讀會ヲ開イテ確定セラレンコトヲ望ミマス  
 ○議長(片岡健吉君) サウスルト、今三讀會ヲ延ベテ置キマシタ下戻法案ノ三讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ  
 〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ三讀會ヲ開クコトニ致シマス

酒精、酒類其他酒精ヲ含有スル飲料輸出下戻金ニ關スル法律案 第三讀會

○議長(片岡健吉君) 一讀會ヲ決シタ通御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ二讀會ヲ決シタ通確定致シマス、次ハ砂糖消費稅法案、全部ヲ議題ニ供シマス

砂糖消費稅法案 第二讀會

○議長(片岡健吉君) 委員長報告通御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ委員長ノ報告通決シマス

○恆松隆慶君(百三十六番) 直チニ三讀會ヲ開カレタイ

○議長(片岡健吉君) 直チニ三讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ直チニ三讀會ヲ開キマス

砂糖消費稅法案 第三讀會

○議長(片岡健吉君) 第二讀會ヲ決シタ通御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ二讀會ヲ決シタ通確定シタモノト認メマス、一、次ハ關稅定率法及同法附屬輸入稅表中改正法律案第二讀會、全部ヲ議題ニ供シマス、是ニハ委員長ノ報告通テ他ニハ修正ハゴザイマセヌカ

關稅定率法及同法附屬輸入稅表中改正法律案 第二讀會

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ直チニ三讀會ヲ開キマス、第二讀會ヲ決シタ通御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○田口卯吉君(五十九番) 本員ハ此委員長ノ修正說ニ不同意ノ點ガゴザイマスガ

〔モウ決シタト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 發言ヲ許シマス

○田口卯吉君(五十九番) ソレデハ一應述ベテ置キマセツ

○議長(片岡健吉君) 登壇セラレテハ如何デ

○田口卯吉君(五十九番) 簡短デアリマスカラ此處テ述ベテ置キマス、此委員長會ノ修正ノ酒精「アルコール」ノ次ヘ「メチレーテットアルコール」ト云フモノガ、毎「リートル」四十二錢ト云フコトニナツテ居リマス、ソレカラ各種ノ丁幾ガ毎「リートル」四十二錢ト云フ修正ガゴザイマス、是ハ如何ニモ不都合ナル修正デゴザイマス、元「アルコール」ノ稅ヲ酒精ト權衡ヲ取ルガタメニ

非常ニ高ク輸入致シマシタカラシテ藥用竝ニ工業用ニ對シテハ唯今諸君ガ御議決ナサレマシタ如ク、下戻ノ稅ガアルノデゴザイマス、ソレ故ニ外國カラ輸入シマスル所ノ藥用竝ニ工業用ノ「アルコール」モ低稅ニナツテ居ルノデゴザイマス、然ルニ此唯今ノ委員長ノ修正ト云フモノハ、藥用竝ニ工業用ノ「アルコール」ニ向ッテ非常ニ重稅ヲ掛ケテ居ル、尋常ノ「アルコール」ト同シ稅ヲ掛ケテアル、而シテ内地ノ製造致シマスル藥用竝ニ工業用ノ「アルコール」ニ戻稅ヲヤリマストキニハ、内地デ以テ丁幾劑若ハ工業ニ使ヒマスル所ノ會社ト云フモノガ、非常ニ思典ヲ蒙ツテ譯テゴザイマス、是ハ如何カ怪シムベキ運動ガアリハシナイカト思ヘル程デアル、外國カラ這入ル所ノ「アルコール」ニ非常ニ稅ヲ掛ケラレテ、内地ノ製藥會社ハ其戻稅ヲ受ケルト云フノハ何タル不權衡デアアル、當局者ハ之ニ向ッテ同意ヲ表シテ居ルト云フノハ、實ニ驚クベキ不都合ナル修正說ト私ハ信ジテ居ル、是ハ他日縱令多數テ御議決ニナツテモ、其不都合ナ稅法ト云フモノハ出來ルモノデヤナイ、ソレ故ニ私ハ此所ニ反對ノ理由ヲ一應述ベテ置キマス

○西原清東君(二十九番) 田口君ノ說ニ辯解ヲシテ置カウト思ヒマス

○議長(片岡健吉君) 成現ノ贊成ガアルカ認メテ置キマセツ

〔贊成ガナイト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 成規ノ贊成ガナイト認メマス

○恆松隆慶君(百三十六番) 是ハ二讀會ハ濟ンダト思ヒマスガ、如何デス

○議長(片岡健吉君) 未マダ濟ミマセヌカ、委員長報告通御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ委員長ノ報告通決シマス

○恆松隆慶君(百三十六番) 本案モ直チニ第三讀會ヲ……

○議長(片岡健吉君) 直チニ第三讀會ヲ開クコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ直チニ三讀會ヲ開キマス、第二讀會ヲ決シタ通御異議アリマセヌカ

關稅定率法及同法附屬輸入稅表中改正法律案 第三讀會

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ確定シタモノト認メマス、議事日程ノ第十二臨時軍事費處分法案、第一讀會議案ノ朗讀ヲ省略シマス、天野若圓君

十二 臨時軍事費處分法案(天野若圓君外二名提出) 第一讀會

臨時軍事費處分法

第一條 國家有事ノ際之ニ要スル經費支辨ノ爲政府ハ一定ノ時期ヲ限リ其ノ費用ヲ特ニ一般國民ニ賦課スルコトヲ得

第二條 軍事費ノ賦課額及賦課方法ハ其ノ都度帝國議會ノ協贊ヲ經ヘシ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

第三條 軍事費ノ收入及支出ハ特別會計トス  
第四條 軍事費徵收ニ關スル手續ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

第五條 明治三十三年六月以降清國事變ニ要スル臨時軍事費ハ本法ニ依リ

賦課ス

第六條 前條ノ軍事費ハ其ノ總額ヲ金五千萬圓ト豫定シ左ノ方法ニ依リ明

治三十四年度ヨリ五箇年間ニ分賦徵收ス

一 年額五分ノ一 戶數ニ平均賦課ス

一 年額五分ノ四 直接國稅及間接國稅ニ附加ス

第七條 第五條ノ軍事費金五千萬圓ヲ超過スルトキハ更ニ帝國議會ノ協贊

ノ經テ賦課徵收ス

第八條 償金又ハ其ノ他ノ方法ニ依リ基金ノ填補ヲ了ルトキハ直ニ第六條

賦課徵收ヲ廢止ス

(天野若圓君演壇ニ登ル)

○星亨君(二百四十一番) 次ノ議事日程ニ移ッテ居リマスカ、サウスルト撤

回ニナラヌト、前ニ決シタモノト矛盾スル

○議長(片岡健吉君) 撤回ノ申出ハアリマセヌ

○天野若圓君(八十一番) ソレハ唯今述べマス、本案ハ増稅案ニ關聯シタ法

案デアリマスカ、ドウカ増稅案ノ先キニ之ヲ議題ニ致シタイト云フタメ

ニ、先ニ金森君カラ緊急動議ヲ先決問題ノ議ガ出マシタガ、不幸ニシテ少數

ヲ倒レマシタ、既ニサウナッテ見レバ増稅案ノ決シタ上ハ、本案ハ附則ト云

フモノハ必要ヲ感シマセヌデゴザイマス、此處デ訂正ヲ致シマシテ、附則全部

ヲ削除シマシテ、唯本文ニ附イテ議題トシテ聊カ趣意ヲ述べマス、ドウカ諸

君ハ本文ニ附イテノ議題ト御承知アリタイトデアリマス、此本案ヲ提出致

シマシタ趣意ハ、理由書ニモ述べテアリマス通、元來戰爭ト云フモノハ一時

ノ事變ノモノデアアル、之ヲ永遠ノ増稅ニ求メルト云フコトハ、決シテ其當ヲ

得ヌモノデアアル、因ッテ斯ノ如キ臨時費ト云フモノハ、臨時ニ一定ノ時期ヲ

限ッテ處分スルノガ至當デアアル、所謂外國ニ於キマシテモ或ハ之ヲ所得稅ニ

附加スルトカ、或ハ一時海關稅ニ附加スルト云フヤウナ方法ヲ以テヤルコト

ガ、屢々其例ガアルノデゴザイマス、ドウカ我國ニ於キマシテモ斯様ナ臨時

ニ起ル所ノ軍事費ト云フモノハ、永遠ニ涉ル所ノ増稅ニ求メズシテ、一般國

民カラシテ一定ノ時期ヲ限ッテ、或ル時期内ニ於テ之ヲ賦課徵收スル方法ヲ設

ケタイト云フ所カラ、此案ヲ立テタデゴザイマス、最早種々ノ何モゴザリマス

ルデ、是デ演說ハ止メマスガ、ドウカ諸君ガ公平ナル國家永遠ニ眼ヲ注イデ、

本案ニ御贊成アラシコトヲ希望シマス

○星亨君(二百四十一番) 是ハマルデ前ノ議決ト矛盾スルカラ反對シマス、

即チ第一條ノ如キモノハ皆矛盾スル

○議長(片岡健吉君) 採決シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤノ採決ヲ致

シマス——第二讀會ヲ開カウト云フ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(片岡健吉君) 少數ト認メマス——第二讀會ヲ開カザルコトニ決シマ

ス——チヨット諸君ニ御諮リスルコトガアリマス、大東義徹君ガ病氣ノタメ明

二十日ヨリ三週間ノ請假ヲ申出ラレマシタ、許可シテ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ許スコトニ致シマス——是ヨリ報告

ガアリマス

(書記朗讀)

議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

社寺上地林處分法案 提出者 出水彌太郎君 西村眞太郎君 藤 金作君

加藤 六藏君 瀧口 歸一君 内藤 正義君

早川 龍介君

霜害地方租地租免除ニ關スル法律案 提出者 菅野善右衛門君 門馬 尙經君 佐藤 清君

中島 祐八君 降旗 元太郎君 秋保 親兼君

關稅定率法附屬輸入稅中改正法律案 提出者 栗原 亮一君 恆松 隆慶君 門脇 重雄君

大瀧 傳十郎君 早川 龍介君

○議長(片岡健吉君) 明後日ノ議事日程ヲ報告致シマス

(書記朗讀)

議事日程 第九號 明治三十四年二月二十一日

午後一時開議

一 臺灣事業公債法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

三 明治三十二年法律第一百一號中改正法律案(政府提出) 第一讀會

四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

五 漁業法案(政府提出) 第一讀會

六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

七 漁業法案(井上角五郎外十四名提出) 第一讀會

八 官國幣社國庫支辨ニ關スル法律案(大津淳一郎外八名提出) 第一讀會

九 府縣鄉村社費ニ關スル法律案(小田貫一外八名提出) 第一讀會

十 民法中改正法律案(關直彦外二名提出) 第一讀會

十一 北海道水產稅則廢止法律案(山下千代雄外十名提出) 第一讀會

十二 明治三十四年法律第二號中改正法律案（大矢四郎 第一讀會  
兵衛提出）

十三 未成年者飲酒禁止法案（根本正外六名 第一讀會ノ續（委員長  
報告）  
提出）

十四 國費ヲ以テ小學校用教科書ヲ編纂スルノ建議案  
（星松三郎外一名提出）

十五 （特別報告第六號）鐵道法中追加ノ請願外四件（委員長報告）

十六 （特別報告第七號）四國鐵道急設ニ關スル請願（委員長報告）

十七 （特別報告第八號）葉煙草密賣買ニ關スル請願（委員長報告）

○議長（片岡健吉君） 今日ハ是ニテ散會致シマス  
午後四時四十八分散會